南大分校区社会福祉協議会

地　域　福　祉　活　動　計　画

ごあいさつ

平成 29 年度は「みんなが主役のささえあいプラン」（第４次地域福祉活動計画）における校（地）区社協の地域特性に応じた「活動計画」策定について南大分校区がモデル校区の指定を受け、活動計画を大分市社会福祉協議会のご指導の下に、地域福祉推進委員と進めてきました。

先ず「ふれあい高齢者実態調査」を校区民生委員（21 名）にお願いして、平成 29 年９月調査説明会、調査実施。１軒１軒訪問しての聞き取り調査をして 10 月集約（調査数 517 名）、分析を待ちました。12 月民生委員に調査結果報告会、平成 30 年２月社協会員の「南大分の福祉を語る会」で調査結果報告とグループ討議。その間、検討会議を重ねました。

調査結果によりいろいろな問題点が判明しました。その中で７割の方が現在通院中で、今は動けるが数年先にはいろいろ困ったことになりそうだ、という不安が多く見受けられます。

そこで地域福祉推進委員が主導して、昨年度の校区総会で策定した福祉協力員（各町内の民生委員の代表者８名）とボランティアの代表とで、生活上軽微な問題を抱えている人の情報の受け皿「ささえ愛の会」を立ち上げ、支援の仕組みづくりの勉強を始めました。

「向こう三軒両隣」の意識や「縁側」での会話が無くなった今、せめて地域で支援できないか、協議会の関係団体と協議して、来期には目に見える形で実行したいと準備を進めております。

南大分校区社会福祉協議会
会長　堤　章彦

“包括ケア・システムのある地域”とは？・・・それは、「高齢に達しても、今までどおり、住みなれた地域で、そして自分の家で、不安なく（安心で・安全に）、自分らしく、いきいきとした生活を送ることができる仕組みがある地域」と表現できると思います。

「高齢者の実態調査」及び、「校区の福祉を語る会」を実施した結果は、次の通りです。

①当面の課題･･･南大分校区のボランティア組織としての“包括ケア・システム”即ち、「ささえ愛の会」の形成となりました。今後、高齢者のサポーターのご協力が必須ですので、機会を改めまして、地域の皆様方にご相談させていただきます。

②将来の課題･･･気軽に出かけて行って和める（お茶を飲める）場所が必要。（これは時間をかけて、地域の皆様方の知恵を拝借したり、大変な検討が必要）

堤会長と相談しながら、大分市社会福祉協議会の「地域福祉推進事業」によるご指導をいただくなかで、自分の使命である包括ケア・システムの「仕組みづくり」の一旦を経験できましたが、これらの「仕組み」が地域に根ざしていくことを願っています。

南大分校区社会福祉協議会
地域福祉推進委員　三ヶ尻　洋一

目　次

第１章　はじめに　1

（1）計画策定の背景　1
（2）大分市社会福祉協議会とは　1
（3）校（地）区社会福祉協議会とは　1

第2章　南大分校区について　2

（1）南大分校区の概要　2
（2）校（地）区社会福祉協議会について　2
（3）人口推移　2
（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状　3
（5）高齢者サロンについて　5
（6）老人会について　6

第3章　ふれあい対象者に関する実態調査　7

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問　8
基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問　10
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問　12
基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問　14

第4章　南大分校区の活動計画策定までのプロセス　15

基本目標1　地域のつながりをつくる　15
基本目標2　地域福祉の担い手をつくる　16
基本目標3　困りごとを深刻化させない　17
基本目標4　安心・安全をつくる　18

第5章　南大分校区の活動計画　19

（1）目標と具体的取り組み　19
（2）計画策定メンバー　20
（3）実施経過　20

第6章　資料編　21

（1）他の活動紹介　21
（2）実態調査の項目　26
（3）実態調査集計結果　33

第１章　はじめに

（1）計画策定の背景

南大分校区は、大分市中心部の南側に隣接した地域であり、校区にはJR九大本線のほか、国道10号線・210号線・420号線などの本市の大動脈である幹線道路が通っており、大分県立病院をはじめとした医療機関やホテル等の大型商業施設、昔ながらの小売店、そして高層マンションが軒を並べています。一方で、大通りを一歩中に入ると、昔ながらの住宅街が広がり、古い神社や病院なども多く、古くから伝わるお祭りや行事もたくさん残っている地域です。

また、大分駅高架化と周辺整備事業が完了し、中心市街地へのアクセスが容易となり、近い将来、マンションや住宅のほか商業施設の建設が盛んとなるかもしれません。

さらに、宗麟大橋の完成によって、大分インターから大分駅南を通って一気に滝尾につながる新しい幹線道路が完成し、大きく発展することが期待されます。

時代の変遷とともに、地域の様子や人と人との関わり方も少しずつ変わっていますが、今も昔も地域を支えてきたのは、校区に対する愛情と人と人とのつながりです。

私たちは、先輩たちが守り育ててきた地域の絆を、さらに太く育て次の子どもたちの世代に引き継いでいくため、今回、大分市社会福祉協議会とともに、「南大分校区福祉活動計画」を策定いたしました。

誰もが住みたくなる町、いつまでも住みたくなる街・南大分校区を目指してまいります。

（2）大分市社会福祉協議会とは

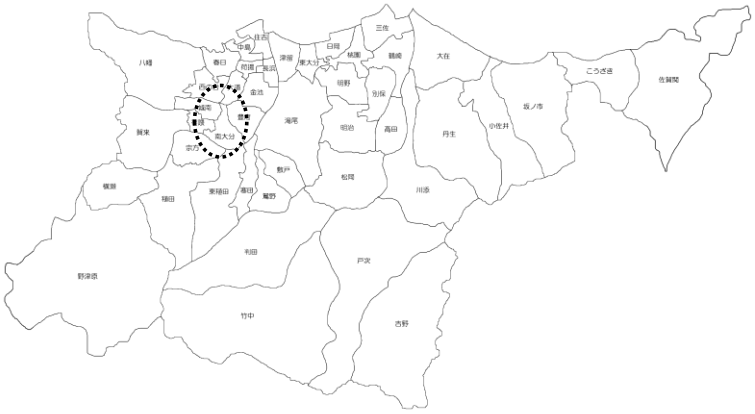
社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進を目的とした団体」で、民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をあわせもった、民間の非営利組織です。社協は、地域の中の課題の把握に努め、組織構成員とともに考え、協力して解決を図ることにより、住民全体の地域福祉の向上を目指しています。

（3）校（地）区社会福祉協議会とは

小学校区や中学校区等を基本に、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、校区内のボランティア等の地域住民で組織されている団体です。大分市社会福祉協議会との連携のもと、市内に45の校（地）区社会福祉協議会が組織されており、各地域の特性を考慮した個性ある自主的な福祉活動〔ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）や、校区単位での子育て支援や地域住民の交流行事など〕を展開しています。

第2章　南大分校区について

（1）南大分校区の概要



◇南大分校区は大分市中部に位置しており、ＪＲ久大本線や国道が通っています。県立病院のほか商業施設・小売店・住宅等が集中していますが、田畑・神社や寺院等も多く見られます。

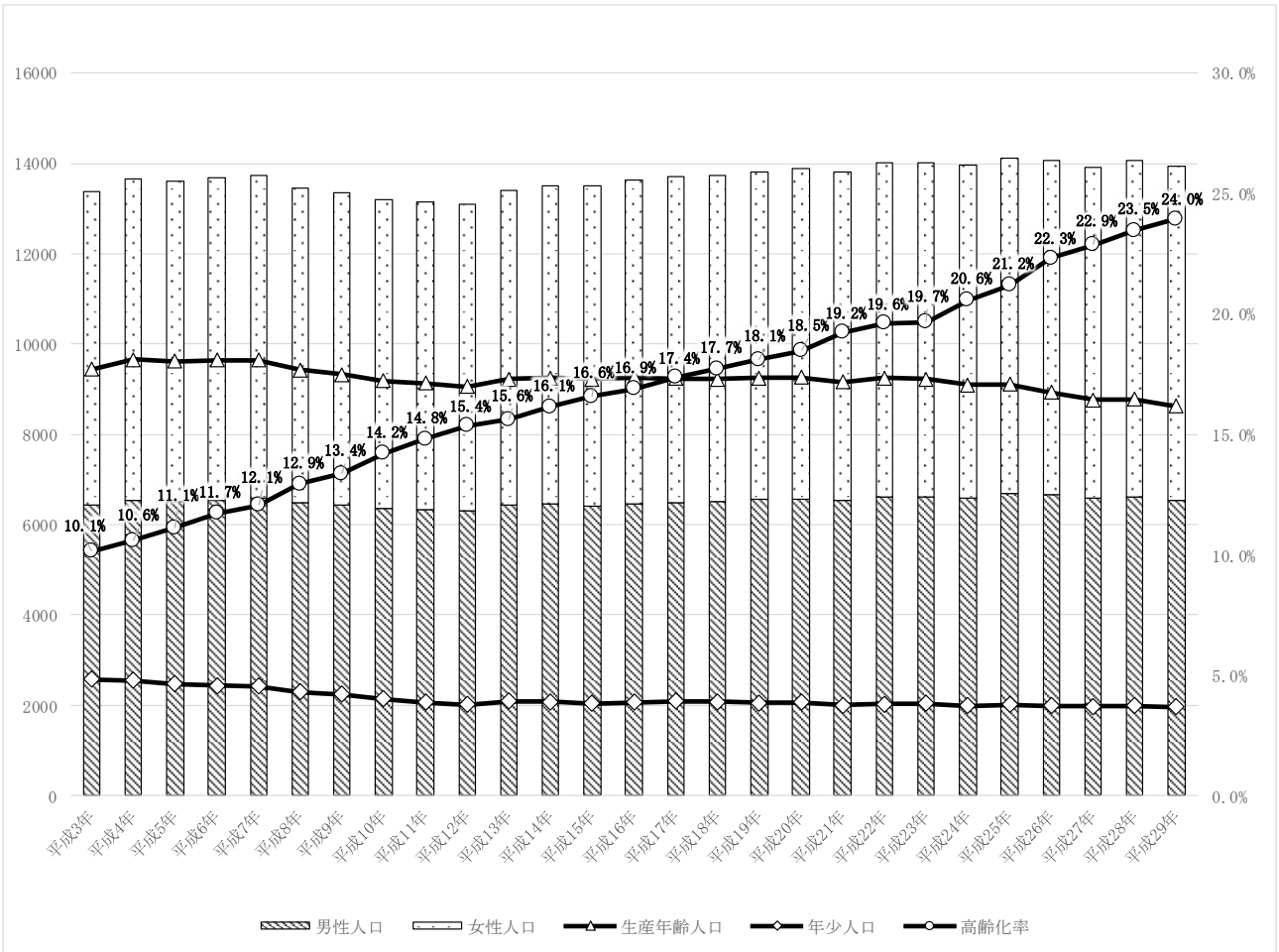
◇8 の自治会区と 21 の民生委員児童委員区、ボランティア団体等と連携し、「地域福祉の共助の核」として様々な事業に取り組んでいます。

（2）校（地）区社会福祉協議会について

◇昭和 29 年に設立されました。

（3）人口推移

◇性別人口・生産年齢人口・年少人口・高齢化率の推移



資料：大分市住民基本台帳人口（各年代 9 月時点※一部 3 月）

（4）ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）の現状

①ふれあい対象者　　500 人

②ふれあい協力者　　420 人

③協力者のいない対象者　　89 人

④緊急連絡先のない対象者　23 人

⑤協力者・緊急連絡先が共にない対象者　　8 人

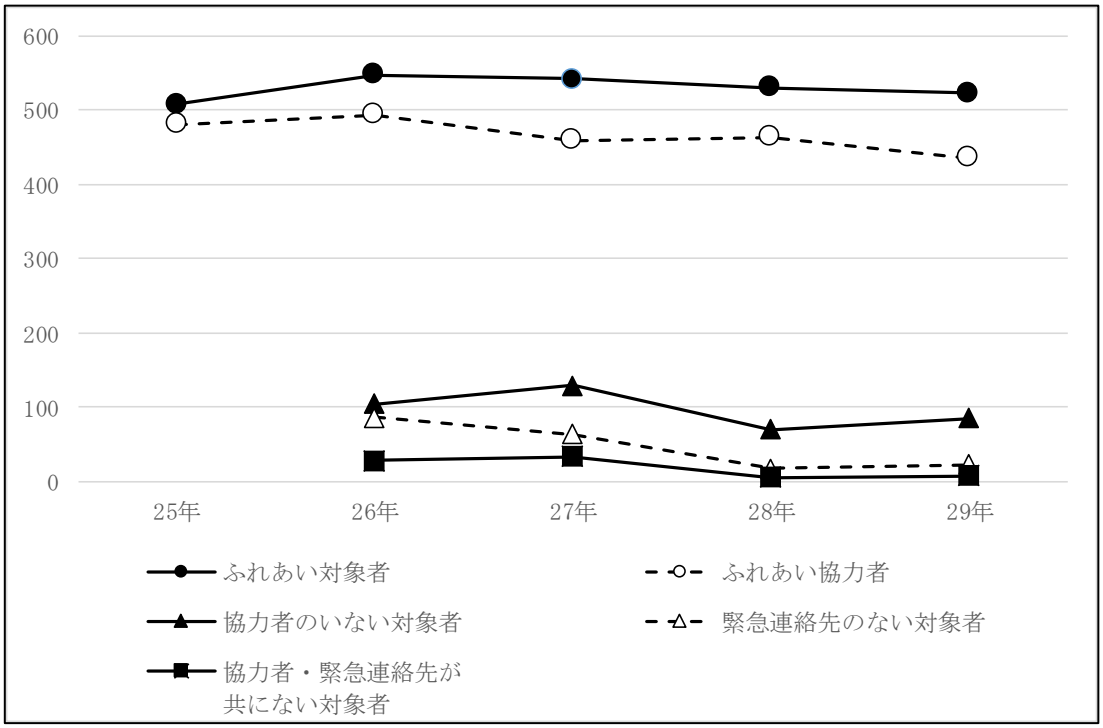
（平成 30 年 1 月末現在）

番号	自治会名	①	②	③	④	⑤	番号	民生委員担当区	①	②	③	④	⑤
1	旭町	26	22	2	1	1	1	旭町	26	22	2	1	1
2	三ヶ田町	30	18	3	1	0	2	三ヶ田町（1～3組）	19	10	3	1	0
							3	三ヶ田町（4～12組）	11	9	0	0	0
3	二又	32	34	4	2	1	4	二又町（5～7組）	15	15	2	1	0
							5	二又町（1～4組）	17	19	2	1	1
4	田中	150	132	13	3	2	6	田中町１区	32	27	7	0	0
							7	田中町２区	23	22	2	0	0
							8	田中町３区	38	32	3	2	2
							9	田中町４区	21	23	0	1	0
							10	田中町４区	35	31	0	0	0
5	豊饒	43	35	13	6	1	11	豊饒（1～5、9組）	17	14	5	0	0
							12	豊饒（6、7、8、10組）	26	21	8	6	1
6	畑中	121	96	36	6	1	13	畑中１～3組、9組、ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ畑中ＮＤ，ＮＥ	21	19	4	0	0
							14	畑中（4～6組、7組-1の1、1の3、2の1、2の2、ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ畑中ＮＦ，ＮＧ）	30	23	9	0	0
							15	畑中（7組1の2、2の3、2の4、7組3～14、11組、12～14組、ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ畑中ＮＪ、ＮＫ、ＮＬ、ＮＭ）	19	16	7	0	0
							16	畑中（8組1～4、10組、ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ畑中ＮＨ，ＮＩ）	21	18	6	3	0
							17	畑中（8組5～17、ﾊﾟｰｸﾀｳﾝ畑中ＮＡ，ＮＢ，ＮＣ）	28	18	10	2	1
7	明碵	83	68	15	3	2	18	明碵町（１組、3組の1（西）、3組の4、4～7組、10組）	36	32	4	1	0
							19	明碵町（2組,3組の1（東）3組の2,8～9組,11組）	23	19	1	0	0
							20	明碵町（12～16組）	27	19	11	3	2
8	尼ヶ瀬	15	16	3	1	0	21	尼ヶ瀬	15	16	3	1	0

南大分地区のふれあい対象者推移

（平成 29 年 4 月 1 日現在）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
ふれあい対象者	508	547	542	530	523
ふれあい協力者	481	494	459	464	436
協力者のいない対象者	―	104	129	70	85
緊急連絡先のない対象者	―	86	64	17	23
協力者・緊急連絡先が共にない対象者	―	28	33	6	8



～ふれあい活動（小地域福祉ネットワーク活動）とは～

「ふれあい協力者」が、日常生活の中で、「ふれあい対象者」への「見守り」や「声かけ」を行い、様々な変化に気づき自治会長・民生委員などにつなげ、地域での見守りあい・話し合い・助け合いの仕組みを構築する活動です。

「ふれあい対象者」：対象者の条件は特にありませんが、支援を要するひとり暮らし高齢者や障がい者、ひとり親世帯等で、本人が活動に同意された方

「ふれあい協力者」：ふれあい対象者に対し、日常的に「見守り」「声かけ」をしていただける近隣住民の方

「緊急連絡先」　：ふれあい対象者の緊急時（事故や急病など）の連絡先で、原則ふれあい対象者の身内の方にお願いしています

(5)高齢者サロンについて

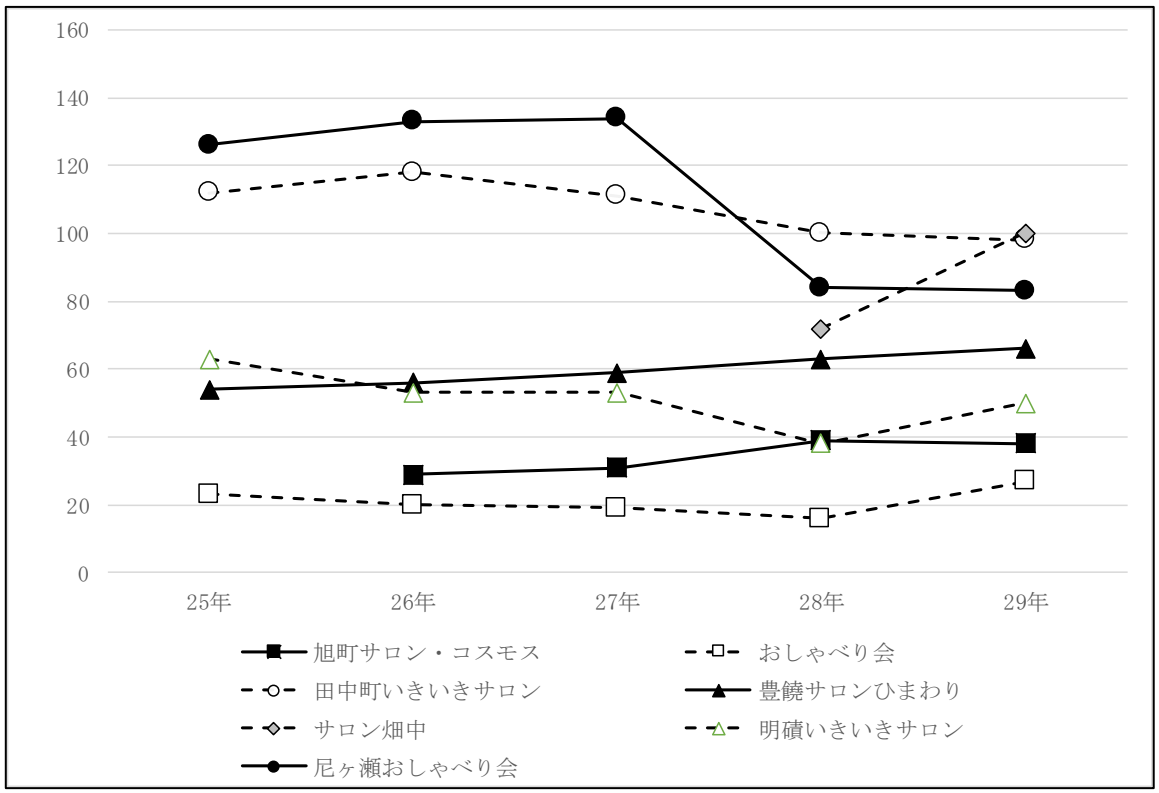
南大分校区内にある高齢者サロンは７ヶ所です。

（平成 30 年 1 月末現在）

	自治会名	サロン名	開催場所	年間開催数	参加者数	登録日
1	旭町	旭町サロン・コスモス	旭町集会所	6	38	平成26年10月21日
2	二又	おしゃべり会	二又公民館	12	27	平成23年4月28日
3	田中	田中町いきいきサロン	田中町公民館	12	98	平成19年3月29日
4	豊饒	豊饒サロンひまわり	豊饒公民館	12	66	平成23年5月30日
5	畑中	サロン畑中	畑中自治会公民館	11	100	平成28年9月6日
6	明磧	明磧いきいきサロン	明磧公民館	12	50	平成18年4月28日
7	尼ヶ瀬	尼ヶ瀬おしゃべり会	尼ヶ瀬公民館	24	83	平成25年3月28日

南大分校区での高齢者サロン参加者の推移

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
旭町サロン・コスモス	―	29	31	39	38
おしゃべり会	23	20	19	16	27
田中町いきいきサロン	112	118	111	100	98
豊饒サロンひまわり	54	56	59	63	66
サロン畑中	―	―	―	72	100
明磧いきいきサロン	63	53	53	38	50
尼ヶ瀬おしゃべり会	126	133	134	84	83



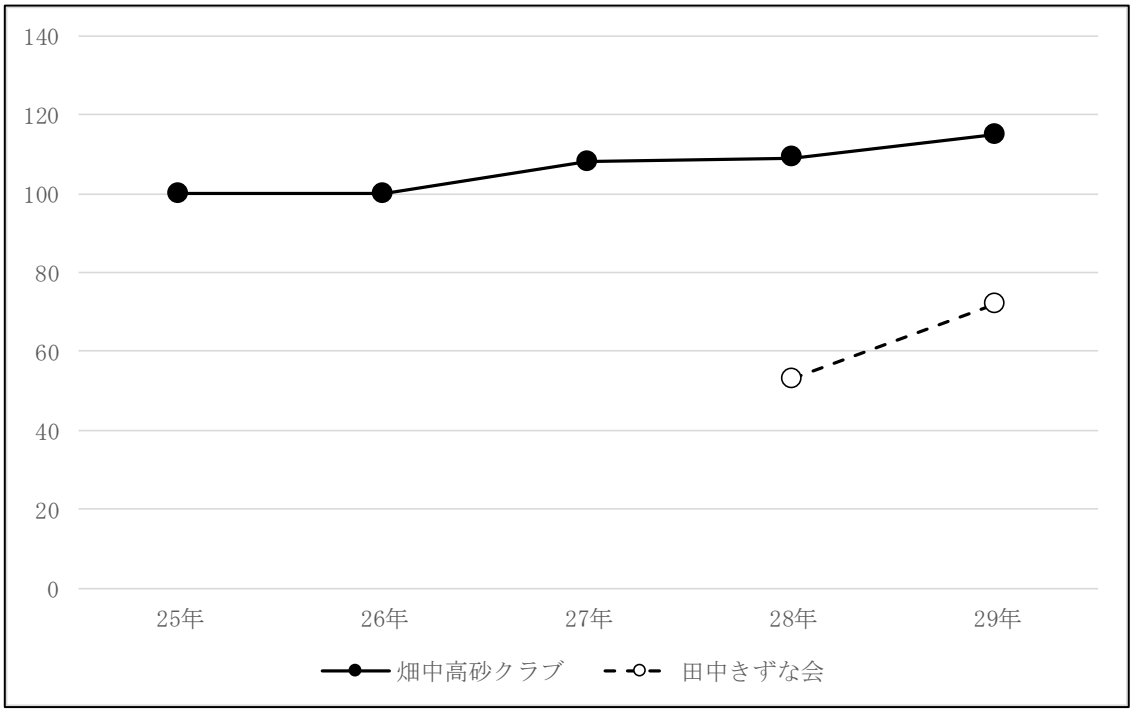
(6)老人会について

南大分校区では、大分市老人クラブ連合会に加入している老人クラブは2ヶ所あります。

（平成29年度）

老人クラブの参加者推移

老人クラブ名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
畑中高砂クラブ	100	100	108	109	115
田中きずな会	―	―	―	53	72



第3章　ふれあい対象者に関する実態調査

本計画を策定するにあたり、南大分校区内のふれあい対象者の生活の実態や地域福祉に関する意識を把握するため、実態調査を実施しました。

実施期間	平成 29 年 9 月 11 日～平成 29 年 10 月 7 日
対　象	南大分校区内のふれあい対象者　517 名 （平成 29 年 9 月 1 日現在の対象者数）
回答者数	475 名
回答率	92%
調査協力者	南大分校区民生委員児童委員協議会

大分市社会福祉協議会では、みんなが主役のささえあいプラン（大分市地域福祉計画、大分市地域福祉活動計画）に基づいて、地域福祉の推進に取り組んでいますが、その基本目標として、「地域の繋がりをつくる」「地域福祉の担い手をつくる」「課題を深刻化させない」「安心・安全をつくる」をかかげています。

今回の実態調査では、この 4 つの基本目標に沿って、アンケートの設問を設定いたしました。

基本目標ごとの調査結果の概要は次のとおりです。

基本目標1:「地域のつながりをつくる」に関する設問

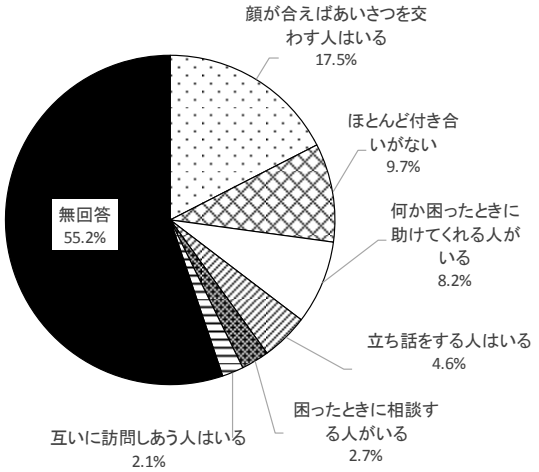
近所づきあいの程度・考え方(問 19・20)

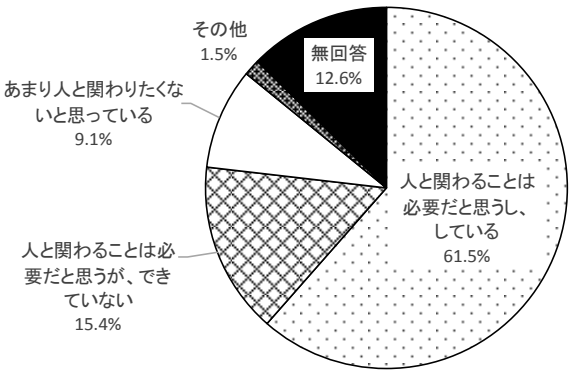
近所づきあいの程度については、「顔が合えばあいさつを交わす人はいる」が 17.5%と最も高く、次いで「何か困ったときに助けてくれる人がいる」が 8.2%、「立ち話をする人はいる」が 4.4%、「困ったときに相談する人がいる」が 2.7%の順となっている。

なお、「ほとんど付き合いがない」は 9.7%となっている。

近所づきあいについての考え方では、「人と関わることは必要だと思うし、している」が 61.5%で最も高く、次いで「人と関わることは必要だと思うが、できていない」が 15.4%となっている。

なお、「あまり人と関わりたくないと思っている」は 9.1%となっている。





参加している地域活動(問 21)

参加している地域活動をみると、「老人会活動」が 18.9%で最も高く、次いで「趣味の活動」が 17.5%、「運動や体操などの健康づくり活動」が 16.0%、「高齢者サロン活動」が 15.6%の順となっている。

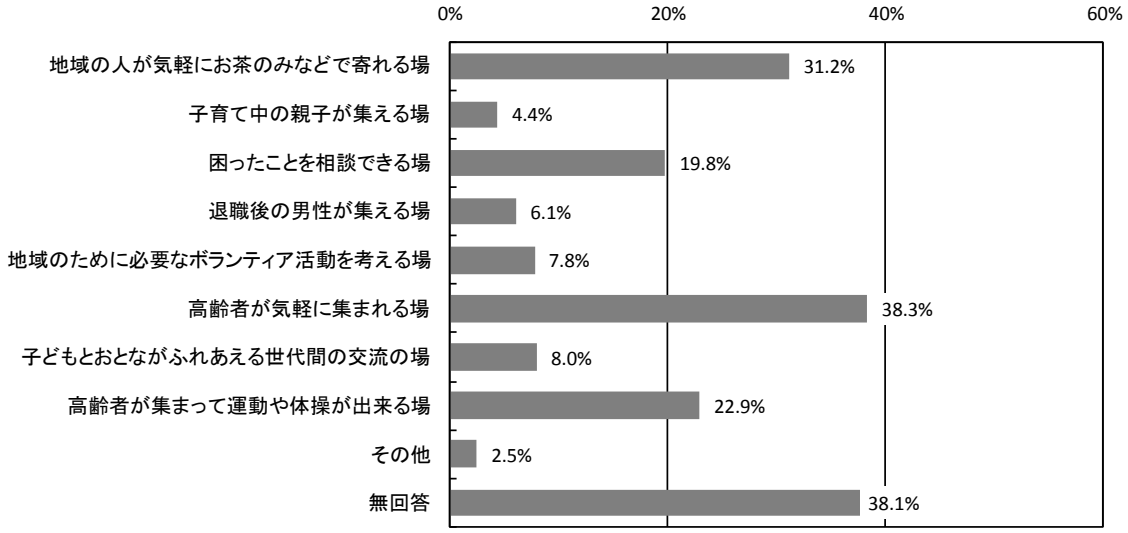
「参加していたが、現在は参加していない」活動では「老人会活動」が 7.4%と最も高い割合となっている。

なお、「参加していないが、参加してみたい」活動では「運動や体操などの健康づくり活動」が、「参加していないし、参加する予定もない」活動では「ボランティア活動」が最も割合が高くなっている。

また、いずれの活動でも、「参加していないし、参加する予定もない」との回答が 30%前後となっている。

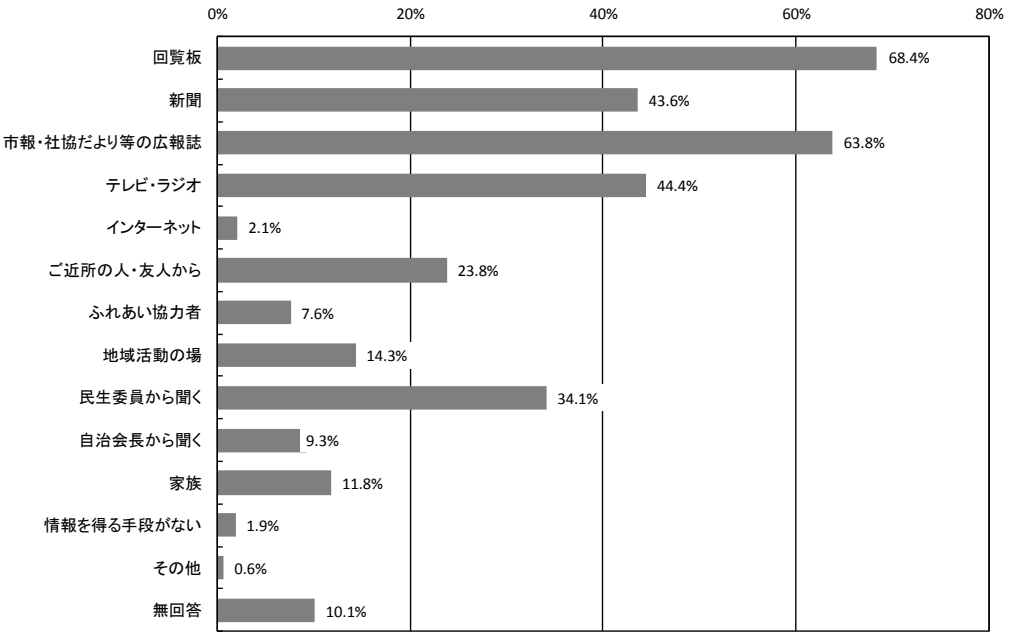
必要と思われる≪地域住民がつながる場≫（問 22）

必要と思われる≪地域住民がつながる場≫については、「高齢者が気軽に集まれる場」が 38.3%で最も高くなっている。また、「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」が 31.2%、「高齢者が集まって運動や体操が出来る場」が 22.9%、「困ったことを相談できる場」が 19.8%となっている。



情報収集の方法（問 29）

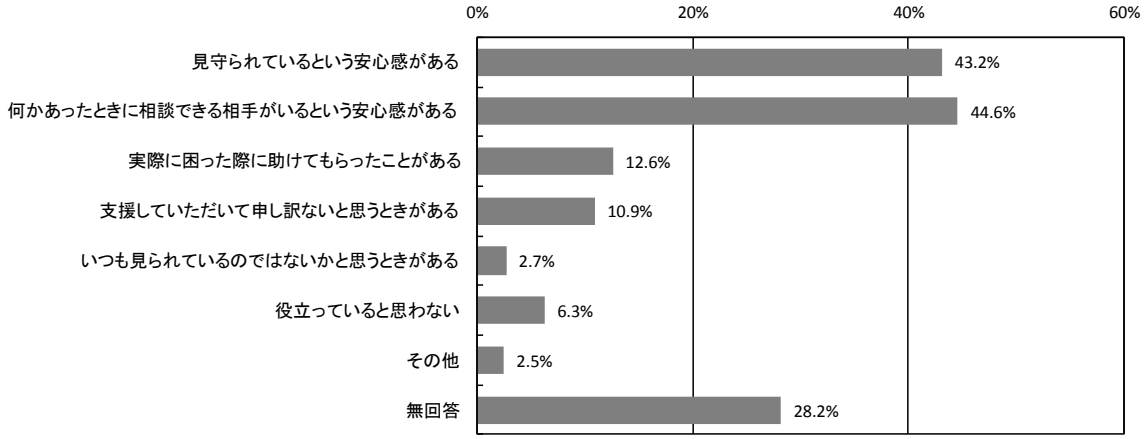
情報収集の方法については、「回覧板」が 68.4%で最も高く、次いで「市報・社協だより等の広報誌」（63.8%）、「テレビ・ラジオ」（44.4%）、「新聞」（43.6%）、「民生委員から聞く」（34.1%）の順となっている。



基本目標2:「地域福祉の担い手をつくる」に関する設問

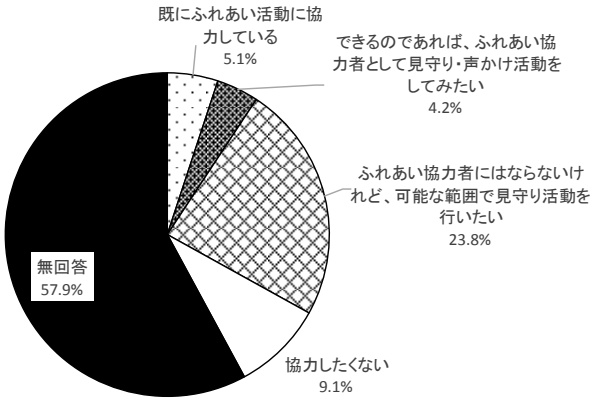
「ふれあい活動」で感じること(問 25)

「ふれあい活動」で感じることについては、「何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある」が 44.6%で最も高く、次いで「見守られているという安心感がある」が 43.2%となっている。



ふれあい活動に協力したいと思うか(問 28)

ふれあい活動に協力したいと思うかについては、「既にふれあい活動に協力している」が 5.1%、「できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい」が 4.2%、「ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい」は 23.8%となっている。「協力したくない」は 9.1%となっている。



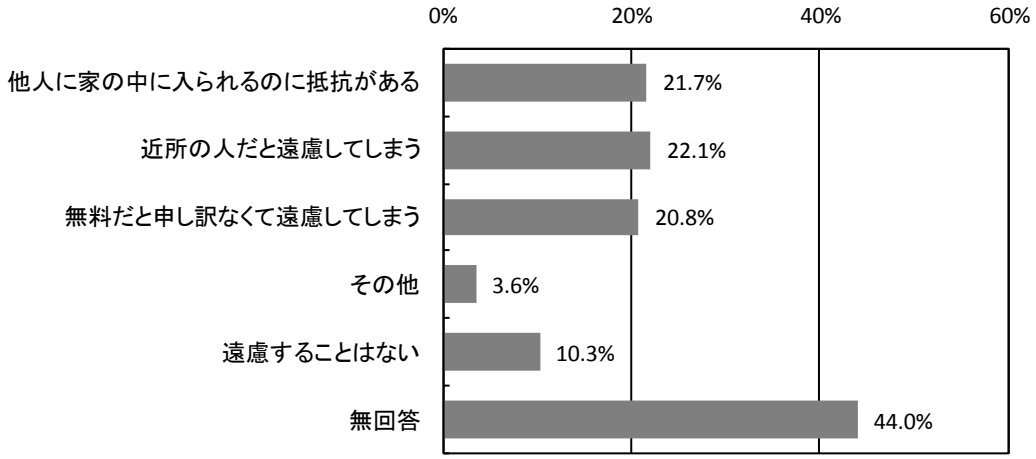
日常生活のお手伝いに力を借りたいか（問 26）

日常生活のお手伝いに力を借りたい人については、「ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい」と答える方の割合が高い。

なお、「草借り」及び「電球の交換」においては、「誰でも良いから力を借りたい」という割合も高くなっている。

手助けを遠慮してしまう理由（問 27）

手助けを遠慮してしまう理由では、「近所の人だと遠慮してしまう」（22.1%）、「他人に家の中に入られるのに抵抗がある」（21.7%）、「無料だと申し訳なくて遠慮してしまう」（20.8%）の順に高くなっており、「遠慮することはない」は 10.3%となっている。



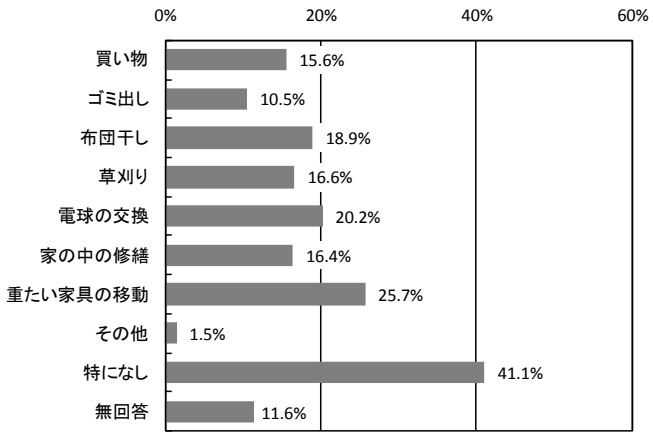
基本目標3:「困りごとを深刻化させない」に関する設問

日常の困りごと(問 11)

日常の困りごとについては、「特になし」が 41.1%で最も高く、次いで「重たい家具の移動」(25.7%)、「電球の交換」(20.2%)、「布団干し」(18.9%) となっている。

(N=475)

	回答数	割合
買い物	74	15.6%
ゴミ出し	50	10.5%
布団干し	90	18.9%
草刈り	79	16.6%
電球の交換	96	20.2%
家の中の修繕	78	16.4%
重たい家具の移動	122	25.7%
その他	7	1.5%
特になし	195	41.1%
無回答	55	11.6%

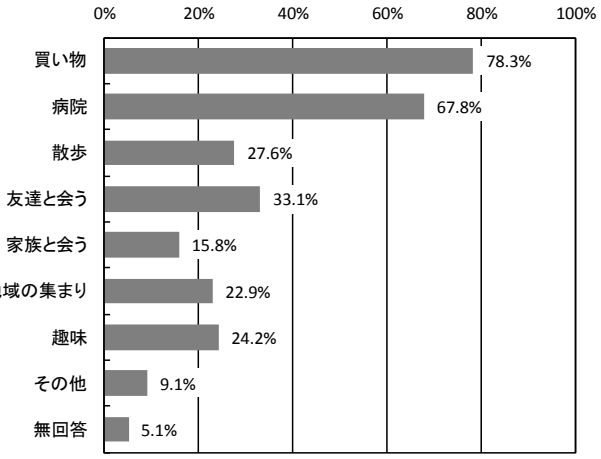


外出の理由(問 15)

外出の理由については、「買い物」が 78.3%となっており最も高く、次いで「病院」(67.8%)、「友達と会う」(33.1%)、「散歩」(27.6%) となっている。

(N=475)

	回答数	割合
買い物	372	78.3%
病院	322	67.8%
散歩	131	27.6%
友達と会う	157	33.1%
家族と会う	75	15.8%
サロンや老人会など、地域の集まり	109	22.9%
趣味	115	24.2%
その他	43	9.1%
無回答	24	5.1%

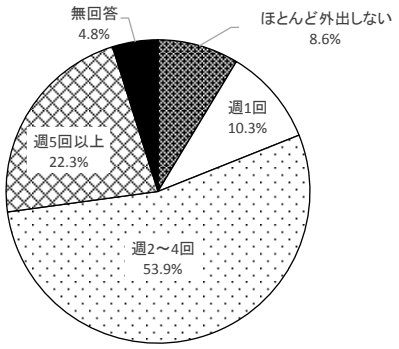


外出の頻度（問 16）

外出の頻度については、「週 2～4 回」が 53.9%と最も高くなっている。次いで「週 5 回以上」が 22.3%と高く、「週 1 回」は 10.3%、「ほとんど外出しない」は 8.6%となっている。

（N=475）

	回答数	割合
ほとんど外出しない	41	8.6%
週1回	49	10.3%
週2～4回	256	53.9%
週5回以上	106	22.3%
無回答	23	4.8%



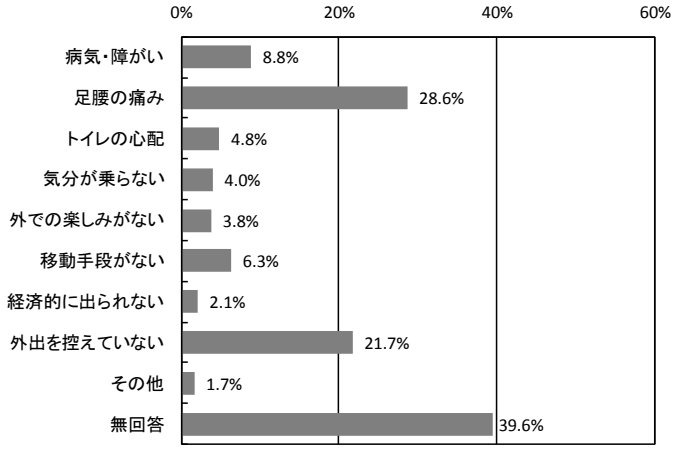
外出を控える理由（問 17）

外出を控える理由では、「足腰の痛み」（28.6%）が高い割合となっている。次いで、「病気・障がい」は 8.8%、「移動手段がない」は 6.3%となっている。

なお、「外出を控えていない」については 21.7%となっている。

（N=475）

	回答数	割合
病気・障がい	42	8.8%
足腰の痛み	136	28.6%
トイレの心配	23	4.8%
気分が乗らない	19	4.0%
外での楽しみがない	18	3.8%
移動手段がない	30	6.3%
経済的に出られない	10	2.1%
外出を控えていない	103	21.7%
その他	8	1.7%
無回答	188	39.6%

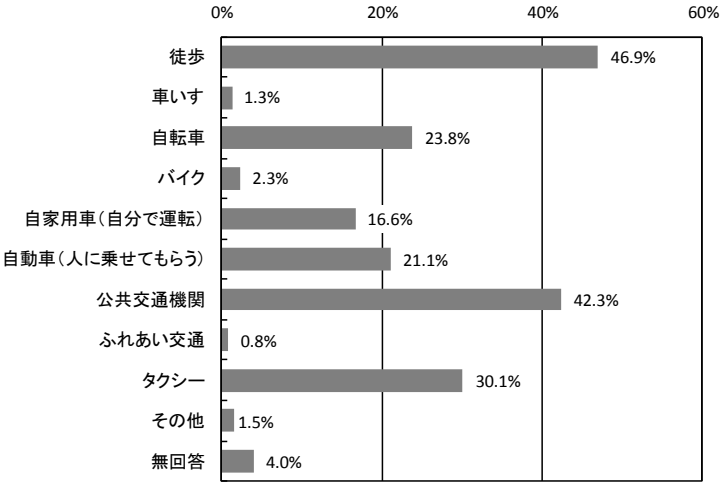


主な外出の手段（問 18）

主な外出の手段については、「徒歩」が 46.9%で最も高く、次いで「公共交通機関」（42.3%）、「タクシー」（30.1%）、「自転車」（23.8%）の順となっている。

（N=475）

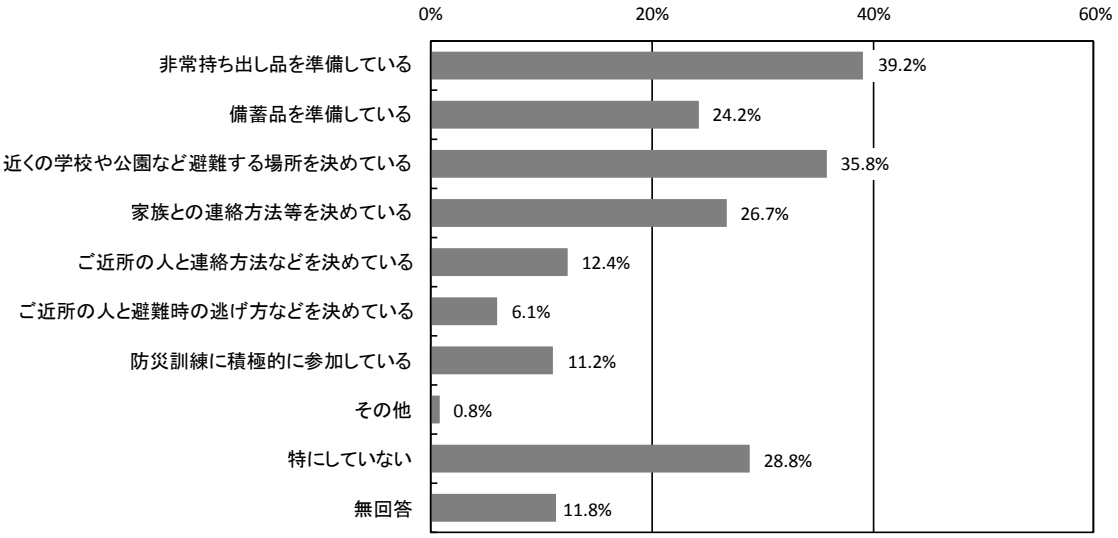
	回答数	割合
徒歩	223	46.9%
車いす	6	1.3%
自転車	113	23.8%
バイク	11	2.3%
自家用車（自分で運転）	79	16.6%
自動車（人に乗せてもらう）	100	21.1%
公共交通機関	201	42.3%
ふれあい交通	4	0.8%
タクシー	143	30.1%
その他	7	1.5%
無回答	19	4.0%



基本目標4:「安心・安全をつくる」に関する設問

災害に対する備え(問 23)

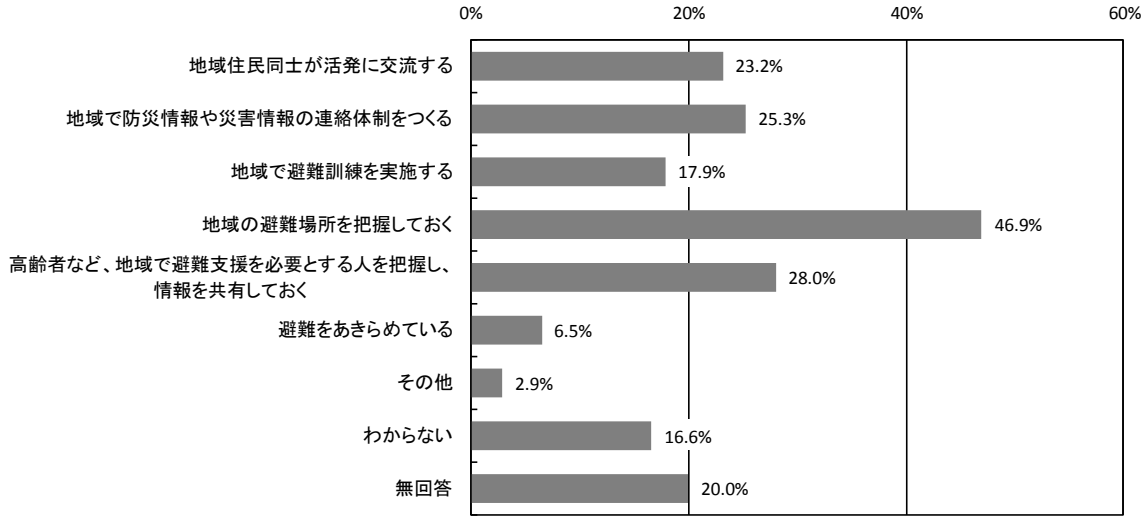
災害に対する備えについては、「非常持ち出し品を準備している」が 39.2%で最も高く、次いで「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」(35.8%)、「特にしていない」(28.8%)、「家族との連絡方法等を決めている」(26.7%)、「備蓄品を準備している」(24.2%) の順となっている。



災害に備えた地域ぐるみの準備とは(問 24)

災害に備えた地域ぐるみの準備については、「地域の避難場所を把握しておく」が 46.9%で最も高く、次いで「高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく」(28.0%)、「地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる」(25.3%)、「地域住民同士が活発に交流する」(23.2%) の順となっている。

なお、「避難をあきらめている」は 6.5%、「わからない」は 16.6%となっている。



第4章　南大分校区の活動計画策定までのプロセス

私たちの地域でふれあい対象者への実態調査を実施し、結果からわかったことを元に、校区内の方々と、ふれあい対象者を支援をする上での実際の課題や、解決策等について話し合いを行いました。

基本目標1　地域のつながりをつくる

≪実態調査で明らかになった現状≫

●人付き合いについて

近所づきあいについて肯定的な人が多数派で、人と関わることが必要だと思うという人が全体の約８割でした。あまり人と関わりたくない、と思っている人も約１割います。

●参加している地域行事について

参加している人が多い地域行事ベスト５は老人会活動、趣味、運動や体操などの健康づくり活動、公民館講座、高齢者サロン活動でした。参加しない理由は、体調がすぐれない、関心のある活動ではないから、外出が不自由などの理由が上位を占めました。他の地域と比べて、公民館講座へ参加する人が多く、拠点として公民館が根付いていることがうかがえます。参加しない理由としては、本人の意思で参加しないと決めている場合と、参加したくても出来ない場合の２パターンあるようです。

●地域に必要な「つながりの場」について

必要と思う、と答えた人数が特に多かったのが「高齢者が気軽に集まれる場」「地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場」「高齢者が集まって運動や体操ができる場」「困ったことを相談できる場」でした。今回の対象者がほぼ高齢者だったこともこの結果になった要因と考えられます。「気軽さ」を求めている一方で、「介護予防」「相談」など目的を特化した場も求められているようです。

●情報収集の方法

公共のサービス（回覧板、広報誌、テレビ、新聞など）を情報源にしている人が圧倒的に多い一方で、インターネットについては１０名しか情報源として活用していないなど、活用は難しいようです。地域の方々とのかかわりの中で、一番情報源として頼りにされているのが「民生委員」であり、民生委員がかなり頼りにされていること、またご近所の方からも情報を得ていることが実態として見えました。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★気軽に集まることの出来る場所について

- ●いつでも集まる場所が欲しいという意見はよく耳にする。「いつでも」というのがポイントで、いつでも、その場所に行けば誰かに会えるという思いからなんだろうと思う。
- ●誰でも気軽にとはいっても、一人暮らしの人と集まって話したいのは、一人暮らし同士の世界を求めているということだろうか。
- ●高齢者以外はどのように思っているのだろうか。
- ●場所をつくるにしても担い手が必要だが、担い手が見つからない。

★昔あったつながり

- ●昔は、班で寄ってお茶のみをしながら、いろんな話をしていたが、今は無くなってしまい、それゆえ助け合いの場もみられなくなった。昔はたのもし会という集まりがあった。

★今ある集まる場（サロン）について

- ●一人暮らしは寂しいという方がいるのでサロン誘うが、なかなか出てきてくれない。
- ●サロンにはなじめない人は他の場を求めているのかもしれない。
- ●集まりに参加したい気持ちはあるが、住んでいる場所から、集う場まで自力で来ることが出来ないという人がいる。移動手段が確保できればよいが。
- ●近場で自由に集える場が欲しい。サロンに参加をしているが、毎回何をするというより、数回に一度は何も決めずにただ集まっておしゃべりをするということも良いのではないか。

≪実態調査で明らかになった現状≫

●困りごとの相談相手

現在の生活の維持に関わる比較的深刻な「困りごと」については、困りごとによって多少の違いはありますが、「家族」へ相談することが第一選択肢となっているようです。健康状態等は、医師・看護師などに相談する方が多いようです。

●ふれあい活動について

見守られているという安心感がある、何かあったときに相談できる相手がいるという安心感があるという方が多く、（調査対象者の約４割、回答してくれた人を母数にすると６割が肯定的）実際に助けてもらったことがある人も約１割いました。しかし、申し訳なさを持っている人や、役立っていると思わない人も一定数います。

●ふれあい活動への協力について

回答してくれた方の内訳８割が、協力している・または協力してみたいと思っています。協力したくない、と答えた方（約１割）の中には、「協力したくない」ではなく「協力したくても出来ない」という人も見受けられました。

●困りごとへの『手伝い』について

困りごとにもよるが、「今はわからない」と答える方がそれぞれ約３割でした。また、約５割の方が無回答でした。力を借りるとすると、「できれば近くの人が良い」＞「誰でもいい」＞「できれば近くじゃない人が良い」という傾向になっています。回答の傾向から、近くへ住む人への期待、信頼感が表れています。草刈りや電球の交換などは、誰でもいいという回答が多くなっていますが、話相手やゴミ出し、買い物などの生活に身近なものは近くの方を頼りたいようです。

●『遠慮』の理由

無回答の方が全体の４割、遠慮することはないと考えている方が約１割でした。遠慮してしまうと思う理由としては、「他人に家の中に入られるのに抵抗がある」「近所の人だと遠慮してしまう」「無料だと申し訳なくて遠慮してしまう」とそれぞれ全体の約２割の方が答えています。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★地域の身近な相談先について

- ●住民から、〇〇ビルにある場所の連絡先を教えてくれないか、と訪ねられたことがあった。よく聞くと、その方は、地域包括支援センターという名前を知らず、何か困りごとを相談したかったようだった。地域包括支援センターの連絡先をお伝えし、後日、助かった、との話を聞いた。相談先を周知していくことも必要では。
- ●介護認定を受ける高齢者のお宅に調査員が来た際、日常生活の様子を知っている民生委員としての意見も市は聞いてもらいたい。出来ていないことも出来ると答えたため、介護度が３から１に下がり、民生委員が文句を言われてしまったことがある。

★困ったことを相談する相手と実態について

- ●民生委員の困りごとをキャッチする力は、困りごとの把握に関してとても頼りになる。
- ●一方で端からみて、困っているだろうなあと思っていても、本人としては困っていないと思っていることもある。

★地域のボランティアについて

- ●ボランティアを回覧と声かけを併せて探していけないだろうか。
- ●便利屋ではなく、「困っている人への支援」としての活動がしていきたい。

≪実態調査で明らかになった現状≫

●食事・掃除・洗濯について
約８～９割の方が、自分でできているとの回答でした。

●日常の困りごとについて
特に困ったことはないという人が約４割でしたが、一定数困っている人がいます（１割～２割ほど）。特に力が必要なもの（布団ほし、重たい家具の移動）や電球の交換など１人だけでは不安なものには困る頻度が高まるようです。

●生活していく上での困りごと
特にないという人が１９５名と全体の４割でした。その他の困りごとは全体的に少ない中、自分自身の健康状態について不安を持っている人は１２２人と全体の２割ほどいます。

●家の中の移動
全体の約８割の方が問題なくできており、身の回りの物を使えばできる方が約１割でした。全体の９割が自立して移動ができる方でした。

●外出の理由
出かける理由の１番は買い物（約８割）、その次が病院（約７割）でした。外に出かける理由の大部分は”生活に必要だから”というものでした。しかし、何かの理由をきっかけに外に出かけるというのも２～３割ずつあるので、場の提供は外に出かけるきっかけづくりとしては有効と思われます。

●外出を控える理由
外出を控える理由としてもっとも多いのが足腰の痛み（約３割）でした。しかし、控えていないと答えた人も約２割います。

●外出の手段
徒歩で出かける方が全体の約半数、次に多いのが公共交通機関（バスや電車など）で約４割、タクシー利用が約３割、自転車を使う人も約２割いました。健康状態によって選ぶ交通手段が違うようで、歩くのが不自由な方の半数がタクシーを活用しているなど、生活の様子が見えます。移動手段がないと答えた方は１割未満だったことからも、南大分では外出手段としては選択肢が多いようです。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

★移動について
- ●私の地域は坂道が多く、買い物にいくにしても降りていくのが大変。
- ●生協の車が乗り合わせて店に連れて行ってくれるサービスを利用している人もいる。
- ●コンビニや病院に行くにしても、信号の押しボタンが無いから道路を渡るのが怖い。
- ●移動の質問で、人に乗せてもらうと答えてくれている方がいるが、多くは家族（子ども）に乗せてもらって買い物に行くと聞く。

★買い物について
- ●南大分は都会で、買い物ができるお店はたくさんある。しかし、便利かどうか、という考え方の捉え方は人それぞれで、自分の好きなものが買えるか買えないかという視点で考えるのとは別。
- ●トキハインダストリーに無料で利用できる談話室ができている。利用率が高く、大変好評のようだ。マッサージ機が設置されているのも理由の一つではないだろうか。
- ●トキハインダストリーは、行けば誰かに会えるという場でもある。買い物をするにしても、トキハインダストリーでは少ししか買わず、どっさり買う場合は子供が来たときに、安く買える店にいくなどしているようだ。

★「困りごと」全般について
- ●「困りごと」の調査が必要では（具体化し、アンケート方式で）。
- ●助け合いも、”制度”だと利用しやすい。
- ●犬の散歩、ごみ出し、電球の交換、庭の草むしり等の困りごとは、民生委員活動の中でよく耳にする。
- ●困りごとの解決には、「困っている人」と「支援する人」のつなぎをする役割が必要。

★その他
- ●空き家が増えつつある。

≪実態調査で明らかになった現状≫

●災害に備えた準備について

「特にしていない」という人が全体の約３割いる一方で、多くの人が何らかの対策をしています。その中でも多かったのが「非常持ち出し品を準備している（約４割）」、「避難する場所を決めている（約４割）」、「家族との連絡方法を決めている（約４割）」「備蓄品を準備している（約２割）」という方でした。防災訓練に積極的に参加している人は約１割に留まりました。近所の方との関わり方については、「近所の人との連絡方法を決めている」「近所の人と避難時の逃げ方を決めている」と答えた方が全体の約１割でした。平常時のふれあい活動については、近所の人へのつながりの必要性を感じている結果になっていますが、災害時（特に避難行動等の初動時）についてはどのような関わりになるのかまだあまりイメージがないのかもしれません。

●災害に備えて地域でできることについて

「地域の避難場所を把握しておく（約５割）」という回答が一番多く、次いで「支援が必要な人の把握と情報共有（約３割）」「連絡体制づくり（約３割）」「住民同士の交流（約２割）」となっています。「避難を諦めている」と答えた方は、全体の約１割未満でした。

避難行動に関しては、多くの人が対応策を考えているようですが、避難時の行動については具体的にどのような体制の構築が必要かを検討することが、今後は必要と考えられます。

≪「話し合い」の場で出た意見≫

●避難場所で、近くのマンションに登らせてもらえればと思うがどうか。

●一時避難場所、指定避難所の違いがわかりにくいが、理解する必要がある。

●防災訓練は寒い時期に行うことも多く、高齢者はなかなか参加しづらい。

第5章　南大分校区の活動計画

（1）目標と具体的取り組み

実態調査や話し合いから出た意見をふまえ、以下の取り組みを考えました。

南大分校区社協の目標１

「困りごと」の受け皿の仕組みをつくります。

校区内に「困っている人」がいることは事実であることから、「困りごと（生活上の軽微な問題）」に対応できる仕組みとして「ささえ愛の会」を設立し、支え合いの仕組みづくりを進めていきます。

活動の方向性（具体的取り組み）

- 年４回の定例会開催
- 仕組みづくりの検討
- 支援するボランティアの募集・養成
- 対応する【困りごと】の選定

南大分校区社協の目標２

「気軽に集まれるふれあいの場」について実態を把握し、検討をしていきます。

実態調査を通して要望が多かった「気軽にあつまれる場」については、支援をする側としても、必要性を感じていました。すぐに場をつくる、というのは難しいですが、まずは、こうした状況の共有をして、どのような対策ができるか、少しずつ周知し、出てきた意見に対応していきたいと思います。

活動の方向性（具体的取り組み）

- ●今回の調査・話し合い結果の共有
- ●サロン交流会等の場でも意見だし
- ●意識の醸成（自治会単位）

(2)計画策定メンバー

	団体名・所属	役職	氏名
1	南大分校区社会福祉協議会	会長	堤　章彦
2	南大分校区社会福祉協議会	副会長（ボランティア南大分代表） ささえ愛の会　会計	大津　慧美子
3	南大分校区社会福祉協議会	事務局長	三股　彬
4	南大分校区社会福祉協議会	会計	櫻井　香代子
5	南大分校区社会福祉協議会	地域福祉推進委員	三ヶ尻　洋一
6	南大分校区社会福祉協議会	ささえ愛の会　副会長	藪　紘一

(3)実施経過

開催日	内容
８月１日（火）～ ９月９日（土）	調査対象者整備活動
９月１０日（日）9：00	調査員説明会
９月１１日（月）～ １０月　７日（土）	調査期間及び回収
１２月　５日（火）13：30 １２月　９日（土）14：00	実態調査結果について
１月２６日（金）14：00 ２月１６日（金）13：30	地域課題の把握（課題出し）
３月　９日（金）10：00	活動目標の策定（計画案）

お忙しい中、ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。
今後とも、南大分校（地）区の地域福祉の発展のために、ご協力いただきますようお願い致します。

第6章　資料編

（1）他の活動紹介

地域の活性化を応援する大分市の補助事業

高齢者ファミリーサポートセンター事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	高齢者の在宅支援を提供する20歳以上の市民(援助会員)と、在宅支援を依頼する65歳以上の高齢者(依頼会員)からなる会員同士により、食事の準備や部屋の掃除、ごみの搬出等による有償ボランティアを行います。
対象地域	市内全域
対象者	65歳以上の高齢者
利用方法	ファミリーサポートセンターへ事前連絡
利用料	①平日（9：00～17：00）　1時間600円 ②休日及び上記時間帯以外の平日　1時間700円
利用実績	2,792件（平成28年度）

地域ふれあいサロン事業	
実施主体	大分市（運営主体：大分市社会福祉協議会）
活動内容	レクリエーション、体操、茶話会、季節の行事など
対象地域	市内全域
対象者	原則、該当の自治会にお住まいの概ね60歳以上の方。 ボランティアとして活動に協力する方については年齢を問わない。
利用方法	各サロンへ直接申し込み
利用料	実費のみ（各サロンによる）
利用実績	28年度　12,802人（登録者数）

市民健康づくり運動教室	
実施主体	大分市（運営主体：大分市民健康づくり運動指導者協議会）
活動内容	健康づくり運動指導者協議会において養成された指導者が、健康づくりのための運動教室を各地区の公民館等で行う。
対象地域	市内全域
対象者	誰でも良い（年齢制限なし）
利用方法	各教室へ直接申し込み
利用料	実費のみ（各教室による）
利用実績	28年度　171カ所（開催ヵ所数）

認知症カフェ運営事業	
実施主体	大分市（長寿福祉課　権利擁護担当班）
活動内容	認知症の方とその家族、地域住民や専門職など誰もが集い、おしゃべりや情報交換等ができる交流の場
対象地域	市内全域
対象者	限定なし
利用方法	各カフェに直接申し込み
利用料	実費（カフェによる）
利用実績	28年度　11カ所（利用者数）

あなたが支える市民活動応援事業	
実施主体	大分市（市民協働推進課）
活動内容	ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体が、自主的に行う公益性の高い事業に対して、市民の届出（応援したい団体）に応じた補助金を交付する。
対象地域	市内全域
対象者	ボランティアグループ、NPO法人、生涯学習指導者団体、地区校区のまちづくりグループなど
利用方法	大分市人材バンクに登録した上で、応援を受けたい事業を市へ届出
利用料	
利用実績	102団体（利用団体数）

他の地域で行われている先進的な取り組み

地域通貨（ご加勢くん）を活用した軽度生活支援事業 【分類：日常的な家事・非日常的な支援】	
実施主体	こうざき校区社会福祉協議会
活動内容	草取り・買い物・ごみ出し・掃除・重い者の運搬など
対象地域	こうざき校区
対象者	こうざき校区の住民
利用方法	サポートセンターに申し込み
利用料	10分間100円　※地域通貨を活用
財源	平成27年実績 ・校（地）区社協事業費　19,800円 ・利用料収入　16,200円
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数9名（のべ利用者数64名） ・サービス利用時間　108時間40分

誰でも参加できる居場所「あらたにカフェ」 【分類：外出・交流】	
実施主体	上国東地区社会福祉協議会　あらたに会（大分県国東市）
活動内容	「あらたにカフェ」の開催（火・水・木・金） ・コーヒー１杯100円、その他メニュー有 ・健康体操やレクリエーション　など ・送迎つきの食事会（参加費400円）、買い物ツアーを月2回（第1、3木曜日実施）
対象地域	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
対象者	特に要件なし。　※食事会への送迎は上国東地区の方のみ
利用方法	送迎つきの食事会、買い物ツアーには事前申込が必要
利用料	無料
財源	〈初動設備〉 ・大分県里のくらし支援事業 ・大分県サロン活動等交流の場の立ち上げ支援事業（カフェ） ・大分県老人クラブ連合会　元気高齢者地域活動応援事業（食事会等） 〈活動費用〉 ⇒平成29年度は介護保険制度一般介護予防事業の予算の一部を活用
利用実績	平成28年12月～平成29年3月末の実績 カフェ　　53回開催　利用者数796名 食事会　　6回開催　利用者数126名 （参考）地域の人口491名（H28.4.1現在）

施設の地域交流スペースを活用した買い物支援事業 （地域貢献事業の一環） 【分類：外出】	
実施主体	社会福祉法人　龍和会　特別養護老人ホーム　寿志の里
活動内容	・8つの販売業者との協力による買い物の場の提供 ・自ら来られない方への支援（無料送迎）
対象地域	高江、住床、米良　※上記3地区以外から2名が利用
対象者	限定なし
利用方法	送迎のみ申し込みが必要
利用料	無料　※買い物は有料
財源	法人の施設、公用車、職員を活用した取り組みのため、ガソリン代程度の経費のみかかっている。
利用実績	平成28年度実績 ・利用者数 981名（うち送迎利用者数 260人） ・年間約160,000円の売り上げ

富士見が丘お出かけ交通 【分類：外出】	
実施主体	富士見が丘連合自治会
活動内容	外出支援・買い物支援 ・外出支援についてはタクシー会社委託。買い物支援はボランティアが行う。
対象地域	富士見が丘団地内
対象者	虚弱高齢者、外出困難者
利用方法	タクシー会社に予約
利用料	1回 400円
財　　源	市・自治会補助金（廃品回収の収益金） 年間 約200,000円 ・タクシー会社への事務手数料118,800円（9,900×12月） ・利用１回あたりのタクシー会社への負担金640円 （個人負担400円、自治会補助240円）
利用実績	年間 約180回

暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」の取り組み 【分類：日常的な家事・外出・交流・非日常的な支援】	
実施主体	・暮らしのサポートセンター　久住「りんどう」 ・竹田市地域包括支援センター
活動内容	・誰でもでも参加できる「寄り合いの場」 ・調理・清掃・ごみ出し・買物支援・外出支援・など
対象地域	久住町及びその近隣地域
対象者	・寄り合いの場は、特に限定なし。 ・生活支援サービスは会員加入者（年会費1,000円）
利用方法	電話で申し込み
利用料	1時間800円（30分400円）
財　　源	平成27年度 ・収入4,703,166円（市補助金、年会費、利用料等） ・支出2,847,530円
利用実績	平成28年度実績 ・会員数116名　支援回数197回

地域社会で支える外出支援活動 【分類：外出】	
実施主体	NPO法人　中原たすけあい（佐賀県）
活動内容	福祉有償運送と無償運送（もやい号）による外出支援
対象地域	①福祉有償運送（365日運行） 起点・終点が鳥栖市・みやき町であれば制限無し ②無償運送「もやい号」（毎週火・木・土AM9時～PM4時） 中原校区内
対象者	①福祉有償運送：鳥栖市、みやき町、上峰町の外出困難な会員 ②無償運送（もやい号）：中原校区内で外出に困っている会員
利用方法	申し込み
利用料	①福祉有償運送：1時間700円、1km50円 ※タクシーの約2分の1の金額 ②無償運送（もやい号）：ガソリン代実費（1回100円）
財　　源	（平成27年度） 福祉有償運送／無償運送（もやい号）／合計 収入：2,002千円／278千円／2,280千円 支出：3,600千円／799千円／4,399千円 差引：-1,598千円／-521千円／-4,399千円 ※収支不足額は寄付金、他事業収益で補てん
利用実績	平成27年度実績 ①福祉有償運送：利用者数55人（延べ利用者数2,177人） ②無償運送（もやい号）：利用者数41人 （延べ利用者数2,788人）

(2)実態調査の項目

あなたご自身についておうかがいします。

(問１）あなたの性別を教えてください。

１）男性　　２）女性

(問２）あなたの年齢を教えてください。

１）50 歳未満　　２）50～59 歳　　３）60～64 歳　　４）65～69 歳

５）70～74 歳　　６）75～79 歳　　７）80～84 歳　　８）85 歳以上

(問３）居住形態を教えてください。

１）一軒家（一戸建て）・持ち家　　２）一軒家（一戸建て）・借家

３）集合住宅・持ち家　　４）集合住宅・借家　　５）公営住宅

６）その他（　　）

(問４）家族構成を教えてください。

１）ひとり暮らし　　２）夫婦のみ　　３）子どもと同居　　４）兄弟・親族と同居

５）その他（　　）

(問５）今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

１）１年未満　　２）１年以上～３年未満　　３）３年以上～５年未満

４）５年以上～10 年未満　　５）１０年以上～20 年未満　　６）２０年以上

(問６）あなたの健康状態はどうですか。（○はいくつでも）

１）健康である　　２）通院している　　３）通院していないが、体調がすぐれない

４）歩くのが不自由　　５）寝たきり状態

６）その他（　　）

日常の生活についてお尋ねします。

(問７）食事は一人で出来ますか。

１）問題なくできる　　２）見守りや声かけがあれば出来る　　３）一部介助が必要

４）ほとんど介助が必要

(問８）①毎日の食事は主にどのように準備していますか。

１）自分や同居の家族が作っている　　２）配食サービスや弁当等を買っている

３）別居の家族に作ってもらう　　４）近所の人や知人に作ってもらう

５）ヘルパーさん等に作ってもらう（サービス利用）

６）その他（　　）

②食事について困っていることがあれば、ご記入ください。

（　　）

（問９）①家の中の掃除は主にどのようにしていますか。

１）自分や同居の家族がしている　　２）掃除業者に依頼する
３）別居の家族にしてもらう　　４）近所の人や知人にしてもらう
５）ヘルパーさん等に頼む（サービス利用）
６）その他（　　）
７）特に掃除はしない

②ご家庭での掃除に関して困っていることがあれば、ご記入ください。

（問１０）①洗濯は主にどのようにしていますか。

１）自分や同居の家族がしている　　２）クリーニング屋を利用
３）別居の家族にしてもらう　　４）近所の人や知人にしてもらう
５）ヘルパーさん等に頼む（サービス利用）
６）その他（　　）

②ご家庭での洗濯に関して困っていることがあれば、ご記入ください。

（問１１）日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

１）買い物　　２）ゴミ出し　　３）布団干し　　４）草刈り
５）電球の交換　　６）家の中の修繕　　７）重たい家具の移動
８）その他（　　）
９）特になし

（問１２）問１１以外で、その他に困ったと思うことがあれば教えてください。
（○はいくつでも）

１）健康保険や高齢者医療のこと　　２）税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない
３）介護保険サービス利用方法　　４）生活のための収入が足りない
５）家族の介護のこと　　６）子どもや孫など身内のこと
７）自分自身の健康状態　　８）人間関係がうまくいかない
９）頼れる人がいない
10）その他（　　）
11）特になし

（問１３）A～Hまでのそれぞれの困りごとで、あなたが困ったときに相談する相手を1～11 の中からあてはまるものに全て○をしてください。

	同居している家族・親族	同居していない家族・親族	近所に住んでいる友人・知人	近所以外に住んでいる友人・知人	ふれあい協力者	民生委員	自治会役員	医師・看護師など	地域包括支援センター	ヘルパー・ケアマネ	相談できる人はいない
A　健康保険や高齢者医療のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
B　税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C　介護保険サービス利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
D　生活のための収入が足りない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
E　家族の介護のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
F　子どもや孫など身内のこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G　自分自身の健康状態について	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H　人間関係がうまくいかない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

日常的な外出についてお尋ねします

（問１４）家の中での移動は一人でできますか。

１）問題なくできる　　２）見守りや声かけがあれば出来る
３）身の周りのものを使えば出来る　４）一部介助が必要　　５）ほとんど介助が必要

（問１５）どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（○はいくつでも）

１）買い物　　２）病院　　３）散歩　　４）友達と会う　　５）家族と会う
６）サロンや老人会など、地域の集まり　７）趣味
８）その他（　　）

（問１６）お出かけの頻度はどの位ですか。

１）ほとんど外出しない　　２）週１回　　３）週２～４回　　４）週５回以上

（問１７）外出を控える理由があれば教えてください。（○はいくつでも）

１）病気、障がい　　２）足腰の痛み　　３）トイレの心配　　４）気分が乗らない
５）外での楽しみがない　　６）移動手段がない　　７）経済的に出られない
８）外出を控えていない　　９）その他（　　）

（問１８）外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

１）徒歩　　２）車いす　　３）自転車　　４）バイク
５）自家用車（自分で運転）　　６）自動車（人に乗せてもらう）
７）公共交通機関（バス、電車）　８）ふれあい交通　　９）タクシー
10）その他（　　）

ご近所付き合いについてお尋ねします

（問１９）あなたは、日頃、ご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

１）何か困ったときに助けてくれる人がいる　　２）困ったときに相談する人がいる
３）互いに訪問しあう人はいる　　４）立ち話をする人はいる
５）顔が合えばあいさつを交わす人はいる　　６）ほとんど付き合いがない

（問２０）日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

１）人と関わることは必要だと思うし、している
２）人と関わることは必要だと思うが、できていない
３）あまり人と関わりたくないと思っている
４）その他（　　）

（問２１）①以下のＡ～Ｉのそれぞれの活動で、お住まいの地域でのあなたの参加状況について、1～4 のうち、あてはまるものにそれぞれひとつ○をしてください。

	参加している	参加していたが、現在は参加していない	参加していないが、参加してみたい	参加していないし、参加する予定もない
Ａ　老人会活動	1	2	3	4
Ｂ　婦人会活動	1	2	3	4
Ｃ　地域の役員・世話人活動	1	2	3	4
Ｄ　公民館講座	1	2	3	4
Ｅ　趣味の活動	1	2	3	4
Ｆ　ボランティア活動	1	2	3	4
Ｇ　高齢者サロン活動	1	2	3	4
Ｈ　地域のお祭り・行事	1	2	3	4
Ｉ　運動や体操などの健康づくり活動	1	2	3	4

②　①で、「参加していない（2～4）」と答えた方は、理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

１）自分の関心のある活動ではないから　　２）忙しくて時間がない
３）体調がすぐれない　　４）外出が不自由
５）家族の反対　　６）その他（　　）

（問２２）あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場
２）子育て中の親子が集える場
３）困ったことを相談できる場
４）退職後の男性が集える場
５）地域のために必要なボランティア活動を考える場
６）高齢者が気軽に集まれる場
７）子どもとおとながふれあえる世代間の交流の場
８）高齢者が集まって運動や体操が出来る場
９）その他（　　）

（問２３）災害に対してあなたはどんな備えをしていますか。（○はいくつでも）

１）非常持ち出し品を準備している（非常食・懐中電灯・ラジオなど）
２）備蓄品を準備している（飲食料、衣類、洗面具など）
３）近くの学校や公園など避難する場所を決めている
４）家族との連絡方法等を決めている
５）ご近所の人と連絡方法などを決めている
６）ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている
７）防災訓練に積極的に参加している
８）その他（　　）
９）特にしていない

（問２４）災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（○はいくつでも）

１）地域住民同士が活発に交流する
２）地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる
３）地域で避難訓練を実施する
４）地域の避難場所を把握しておく
５）高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく
６）避難をあきらめている
７）その他（　　）
８）わからない

住民同士の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」についてお尋ねします

（問２５）住民活動の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

１）見守られているという安心感がある
２）何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある
３）実際に困った際に助けてもらったことがある
４）支援していただいて申し訳ないと思うときがある
５）いつも見られているのではないかと思うときがある
６）役立っていると思わない
７）その他（　　）

（問２６）Ａ～Ｉのそれぞれの困りごとについて、自分や同居の家族が、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。１～５のあてはまるものに、それぞれ１つ○をしてください。

	誰でも良いから力を借りたい。	ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい。	ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい。	誰からも力を借りたくない。	今はわからない。
Ａ　買い物	１	２	３	４	５
Ｂ　ゴミ出し	１	２	３	４	５
Ｃ　布団干し	１	２	３	４	５
Ｄ　草刈り	１	２	３	４	５
Ｅ　電球の交換	１	２	３	４	５
Ｆ　家の中の修繕	１	２	３	４	５
Ｇ　重たい家具の移動	１	２	３	４	５
Ｈ　外出	１	２	３	４	５
Ｉ　話し相手	１	２	３	４	５

（問２７）問２６のような、力を借りることについて、以下の理由で遠慮してしまうことはあると思いますか。（○はいくつでも）

１）他人に家の中に入られるのに抵抗がある
２）近所の人だと遠慮してしまう
３）無料だと申し訳なくて遠慮してしまう
４）その他（　　）
５）遠慮することはない

（問２８）あなたは「ふれあい活動（見守り・声かけ活動）」に協力してみたいと思いますか。

１）既にふれあい活動（見守り・声かけ活動）に協力している
２）できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい
３）ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい
４）協力したくない

（問２９）地域の各団体の活動については、どのように情報を得ていますか。
（○はいくつでも）

１）回覧板　２）新聞　３）市報・社協だより等の広報誌　４）テレビ・ラジオ
５）インターネット　５）ご近所の人・友人から　６）ふれあい協力者
７）地域活動（サロン等）の場　８）民生委員から聞く　９）自治会長から聞く
１０）家族　１１）情報を得る手段がない
１２）その他（　　）

（問 30）最後に、感想や意見があればご自由にお書き下さい。

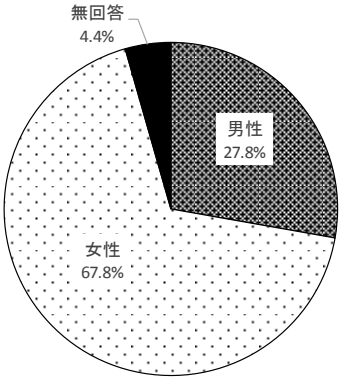
調査へご協力いただき、ありがとうございました。

（3）実態調査集計結果

問 1	あなたの性別を教えてください。

（N=475）

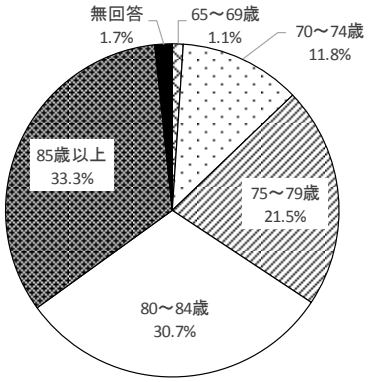
	回答数	割合
男性	132	27.8%
女性	322	67.8%
無回答	21	4.4%



問 2	あなたの年齢を教えてください。

（N=475）

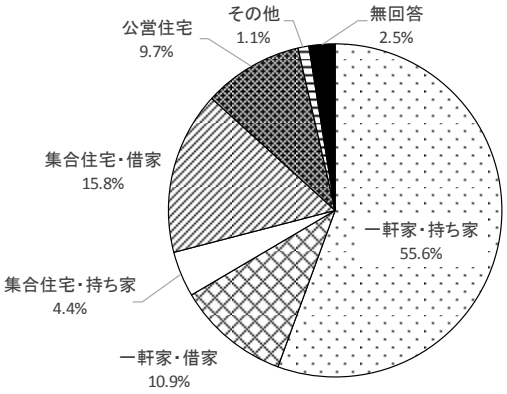
	回答数	割合
50歳未満	0	0.0%
50～59歳	0	0.0%
60～64歳	0	0.0%
65～69歳	5	1.1%
70～74歳	56	11.8%
75～79歳	102	21.5%
80～84歳	146	30.7%
85歳以上	158	33.3%
無回答	8	1.7%



問 3	居住形態を教えてください。

（N=475）

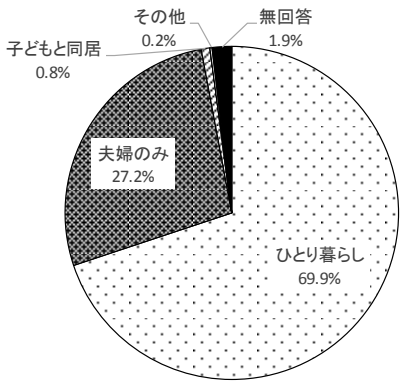
	回答数	割合
一軒家・持ち家	264	55.6%
一軒家・借家	52	10.9%
集合住宅・持ち家	21	4.4%
集合住宅・借家	75	15.8%
公営住宅	46	9.7%
その他	5	1.1%
無回答	12	2.5%



問 4	家族構成を教えてください。

（N=475）

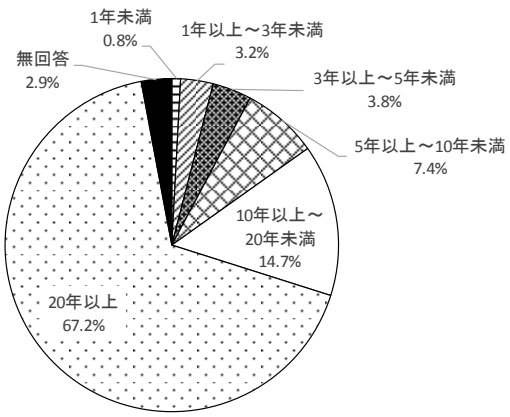
	回答数	割合
ひとり暮らし	332	69.9%
夫婦のみ	129	27.2%
子どもと同居	4	0.8%
兄弟・親族と同居	0	0.0%
その他	1	0.2%
無回答	9	1.9%



問 5	今のお住まいに住んでからの居住年数を教えてください。

（N=475）

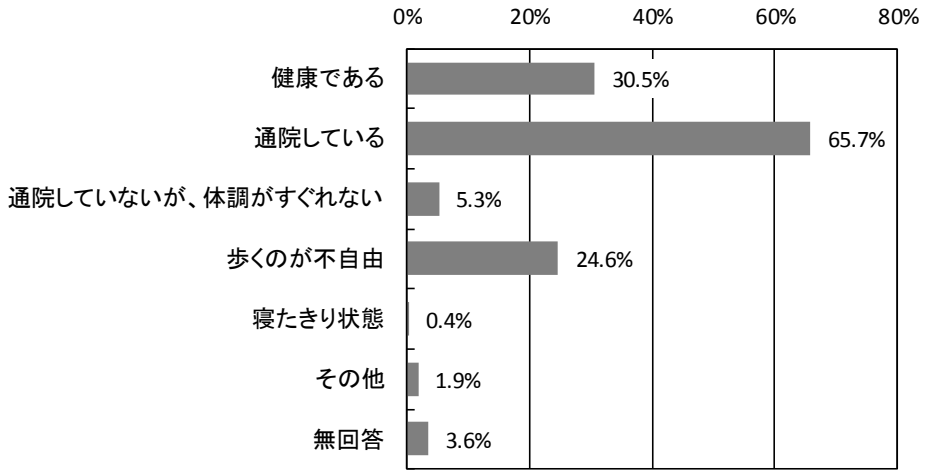
	回答数	割合
1年未満	4	0.8%
1年以上～3年未満	15	3.2%
3年以上～5年未満	18	3.8%
5年以上～10年未満	35	7.4%
10年以上～20年未満	70	14.7%
20年以上	319	67.2%
無回答	14	2.9%



問 6	あなたの健康状態はどうですか。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
健康である	145	30.5%
通院している	312	65.7%
通院していないが、体調がすぐれない	25	5.3%
歩くのが不自由	117	24.6%
寝たきり状態	2	0.4%
その他	9	1.9%
無回答	17	3.6%



※複数回答

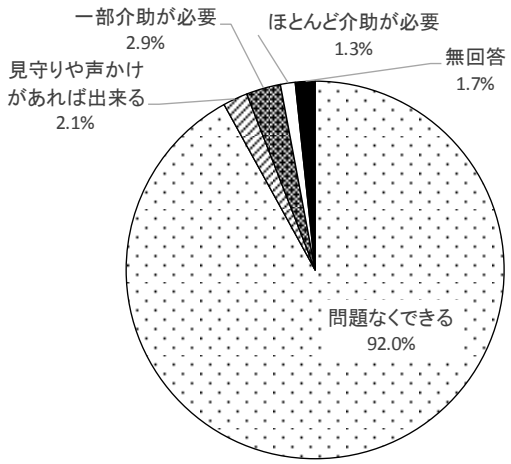
（%）

		サンプル数	健康である	通院している	通院していないが、体調がすぐれない	歩くのが不自由	寝たきり状態	その他	無回答
全　体		475	30.5	65.7	5.3	24.6	0.4	1.9	3.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	40.0	60.0	－	20.0	－	－	－
	70～74歳	56	32.1	57.1	3.6	5.4	－	－	10.7
	75～79歳	102	36.3	63.7	7.8	19.6	1.0	2.0	2.0
	80～84歳	146	32.2	68.5	4.1	25.3	－	2.1	2.1
	85歳以上	158	24.1	70.9	5.7	35.4	0.6	2.5	0.6

問 7	食事は一人で出来ますか。

（N=475）

	回答数	割合
問題なくできる	437	92.0%
見守りや声かけがあれば出来る	10	2.1%
一部介助が必要	14	2.9%
ほとんど介助が必要	6	1.3%
無回答	8	1.7%



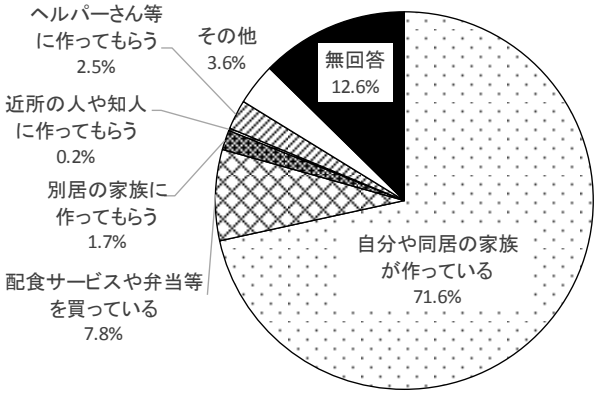
（%）

		サンプル数	問題なくできる	見守りや声かけがあれば出来る	一部介助が必要	ほとんど介助が必要	無回答
全　体		475	92.0	2.1	2.9	1.3	1.7
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	80.0	20.0	－	－	－
	70～74歳	56	96.4	－	1.8	－	1.8
	75～79歳	102	92.2	－	4.9	－	2.9
	80～84歳	146	89.7	4.1	3.4	1.4	1.4
	85歳以上	158	93.0	1.3	1.9	2.5	1.3

問 8	毎日の食事は主にどのように準備していますか。

（N=475）

	回答数	割合
自分や同居の家族が作っている	340	71.6%
配食サービスや弁当等を買っている	37	7.8%
別居の家族に作ってもらう	8	1.7%
近所の人や知人に作ってもらう	1	0.2%
ヘルパーさん等に作ってもらう	12	2.5%
その他	17	3.6%
無回答	60	12.6%



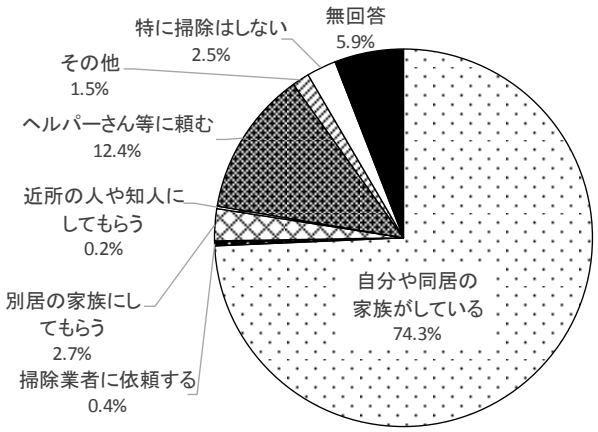
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族が作っている	配食サービスや弁当等を買っている	別居の家族に作ってもらう	近所の人や知人に作ってもらう	ヘルパーさん等に作ってもらう	その他	無回答
全　体		475	71.6	7.8	1.7	0.2	2.5	3.6	12.6
性別	男性	132	68.2	8.3	0.8	－	4.5	7.6	10.6
	女性	322	74.2	7.5	1.6	0.3	1.9	1.9	12.7

問 9	家の中の掃除は主にどのようにしていますか。

（N=475）

	回答数	割合
自分や同居の家族がしている	353	74.3%
掃除業者に依頼する	2	0.4%
別居の家族にしてもらう	13	2.7%
近所の人や知人にしてもらう	1	0.2%
ヘルパーさん等に頼む	59	12.4%
その他	7	1.5%
特に掃除はしない	12	2.5%
無回答	28	5.9%



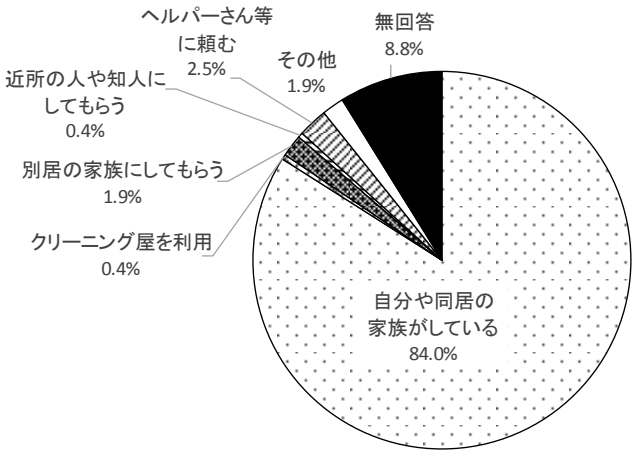
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族がしている	掃除業者に依頼する	別居の家族にしてもらう	近所の人や知人にしてもらう	ヘルパーさん等に頼む	その他	特に掃除はしない	無回答
全　体		475	74.3	0.4	2.7	0.2	12.4	1.5	2.5	5.9
性別	男性	132	75.0	0.8	2.3	0.8	9.8	2.3	6.1	3.0
	女性	322	74.8	0.3	2.5	－	13.4	1.2	0.6	7.1

問 10	洗濯は主にどのようにしていますか。

（N=475）

	回答数	割合
自分や同居の家族がしている	399	84.0%
クリーニング屋を利用	2	0.4%
別居の家族にしてもらう	9	1.9%
近所の人や知人にしてもらう	2	0.4%
ヘルパーさん等に頼む	12	2.5%
その他	9	1.9%
無回答	42	8.8%



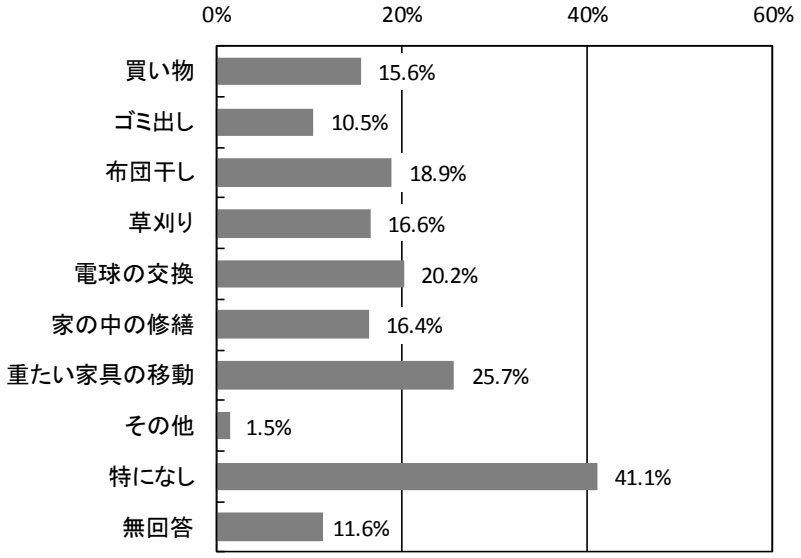
（%）

		サンプル数	自分や同居の家族がしている	クリーニング屋を利用	別居の家族にしてもらう	近所の人や知人にしてもらう	ヘルパーさん等に頼む	その他	無回答
全　体		475	84.0	0.4	1.9	0.4	2.5	1.9	8.8
性別	男性	132	82.6	0.8	1.5	1.5	3.0	3.0	7.6
	女性	322	85.7	－	1.6	－	2.2	1.6	9.0

問 11	日常生活のなかで、困ったことがあれば教えてください。（○はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
買い物	74	15.6%
ゴミ出し	50	10.5%
布団干し	90	18.9%
草刈り	79	16.6%
電球の交換	96	20.2%
家の中の修繕	78	16.4%
重たい家具の移動	122	25.7%
その他	7	1.5%
特になし	195	41.1%
無回答	55	11.6%



※複数回答

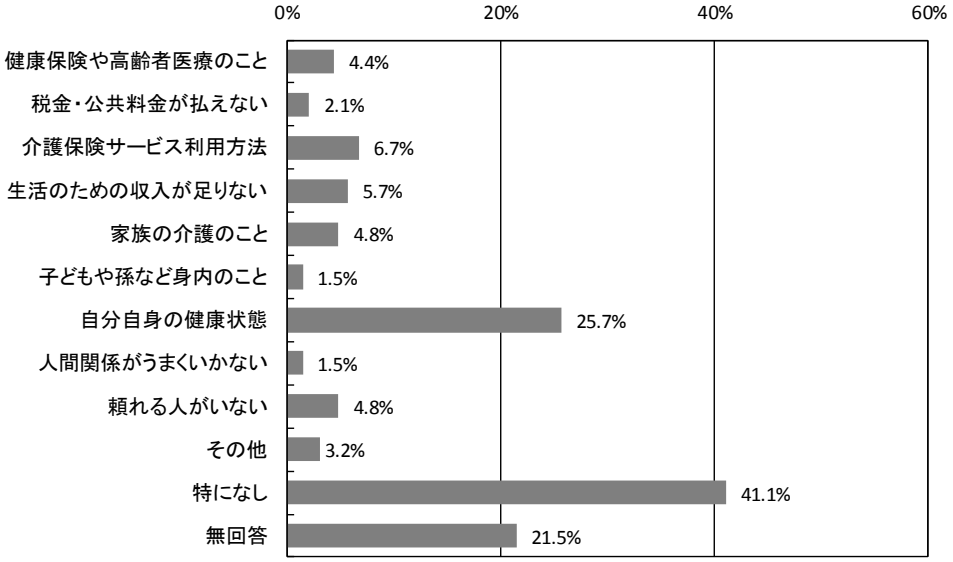
（%）

		サンプル数	買い物	ゴミ出し	布団干し	草刈り	電球の交換	家の中の修繕	重たい家具の移動	その他	特になし	無回答
全　体		475	15.6	10.5	18.9	16.6	20.2	16.4	25.7	1.5	41.1	11.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	40.0	20.0	－	－	40.0	20.0	20.0	－	60.0	－
	70～74歳	56	1.8	－	5.4	5.4	8.9	5.4	14.3	1.8	58.9	16.1
	75～79歳	102	9.8	6.9	19.6	16.7	17.6	17.6	29.4	1.0	39.2	13.7
	80～84歳	146	17.8	11.6	22.6	17.8	24.0	20.5	28.8	0.7	37.0	11.6
	85歳以上	158	21.5	15.2	20.9	20.3	22.8	16.5	25.9	2.5	38.0	8.2

問 12	問 11 以外で、その他に困ったと思うことがあれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
健康保険や高齢者医療のこと	21	4.4%
税金・公共料金が払えない	10	2.1%
介護保険サービス利用方法	32	6.7%
生活のための収入が足りない	27	5.7%
家族の介護のこと	23	4.8%
子どもや孫など身内のこと	7	1.5%
自分自身の健康状態	122	25.7%
人間関係がうまくいかない	7	1.5%
頼れる人がいない	23	4.8%
その他	15	3.2%
特になし	195	41.1%
無回答	102	21.5%



※複数回答

（%）

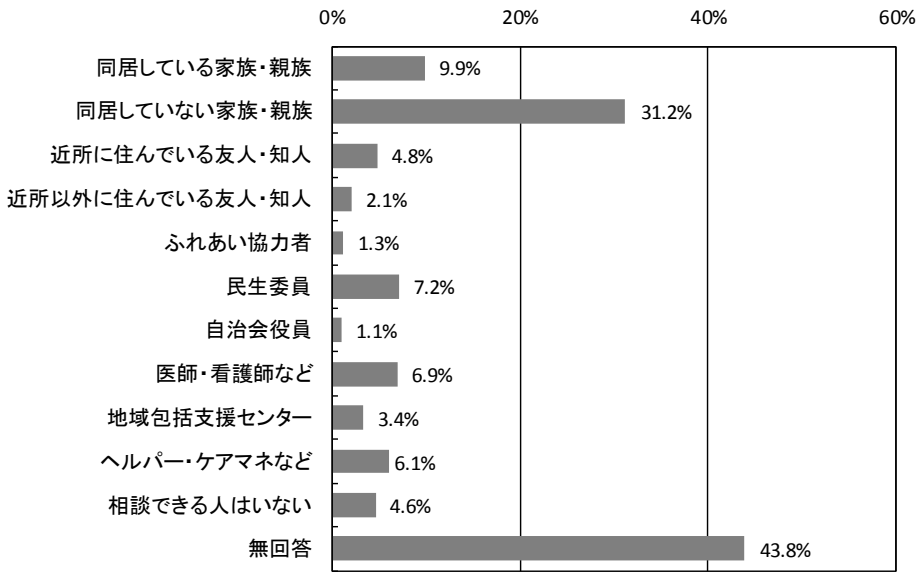
		サンプル数	健康保険や高齢者医療のこと	税金・公共料金が払えない	介護保険サービス利用方法	生活のための収入が足りない	家族の介護のこと	子どもや孫など身内のこと	自分自身の健康状態	人間関係がうまくいかない	頼れる人がいない	その他	特になし	無回答
全体		475	4.4	2.1	6.7	5.7	4.8	1.5	25.7	1.5	4.8	3.2	41.1	21.5
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	5	—	—	—	20.0	—	—	20.0	—	40.0	20.0	40.0	20.0
	70～74歳	56	3.6	5.4	5.4	10.7	1.8	—	16.1	—	5.4	1.8	48.2	25.0
	75～79歳	102	3.9	2.9	2.9	7.8	1.0	—	28.4	2.0	5.9	2.0	37.3	21.6
	80～84歳	146	6.2	1.4	9.6	4.1	8.9	2.7	28.1	2.1	4.1	3.4	40.4	21.2
	85歳以上	158	3.8	1.3	7.6	3.2	5.1	1.9	26.6	1.3	3.8	3.8	41.1	19.6

問 13	A～H までのそれぞれの困りごとで、あなたが困ったときに相談する相手全てに○をしてください。

【A.健康保険や高齢者医療のこと】

（N=475）

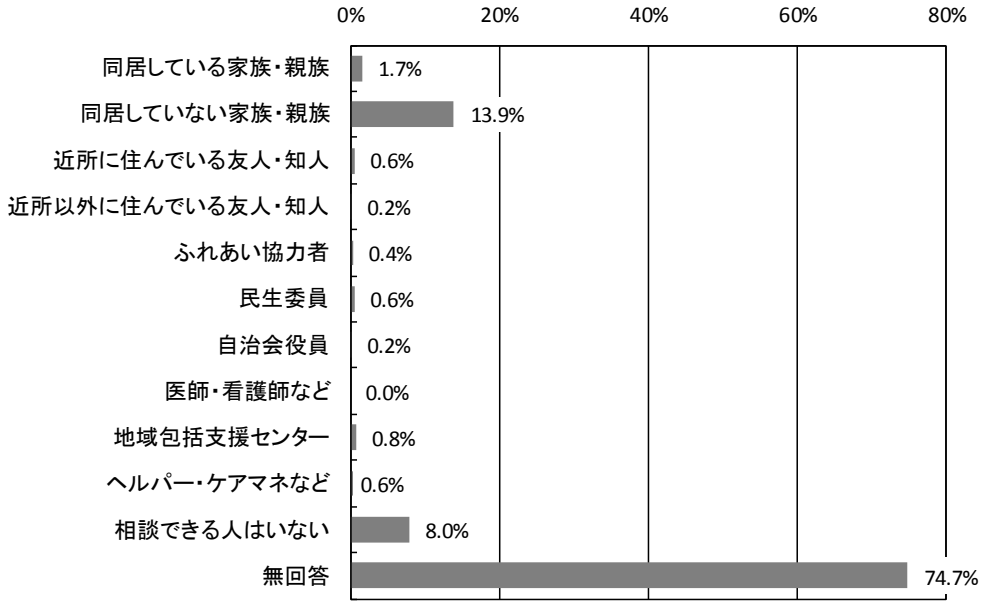
	回答数	割合
同居している家族・親族	47	9.9%
同居していない家族・親族	148	31.2%
近所に住んでいる友人・知人	23	4.8%
近所以外に住んでいる友人・知人	10	2.1%
ふれあい協力者	6	1.3%
民生委員	34	7.2%
自治会役員	5	1.1%
医師・看護師など	33	6.9%
地域包括支援センター	16	3.4%
ヘルパー・ケアマネなど	29	6.1%
相談できる人はいない	22	4.6%
無回答	208	43.8%



【B.税金・公共料金（電気・ガス・水道）が払えない】

（N=475）

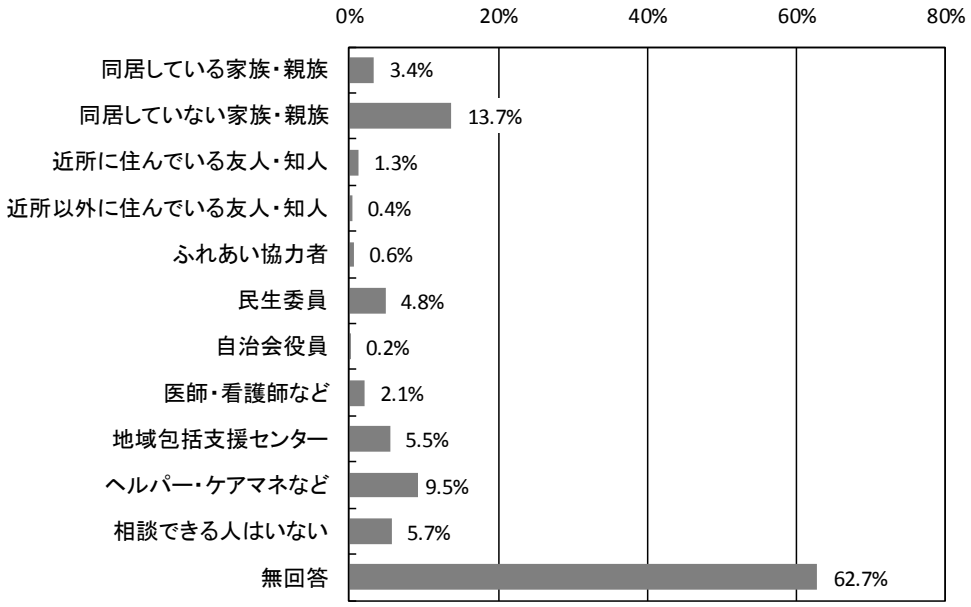
	回答数	割合
同居している家族・親族	8	1.7%
同居していない家族・親族	66	13.9%
近所に住んでいる友人・知人	3	0.6%
近所以外に住んでいる友人・知人	1	0.2%
ふれあい協力者	2	0.4%
民生委員	3	0.6%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	4	0.8%
ヘルパー・ケアマネなど	3	0.6%
相談できる人はいない	38	8.0%
無回答	355	74.7%



【C.介護保険サービス利用】

（N=475）

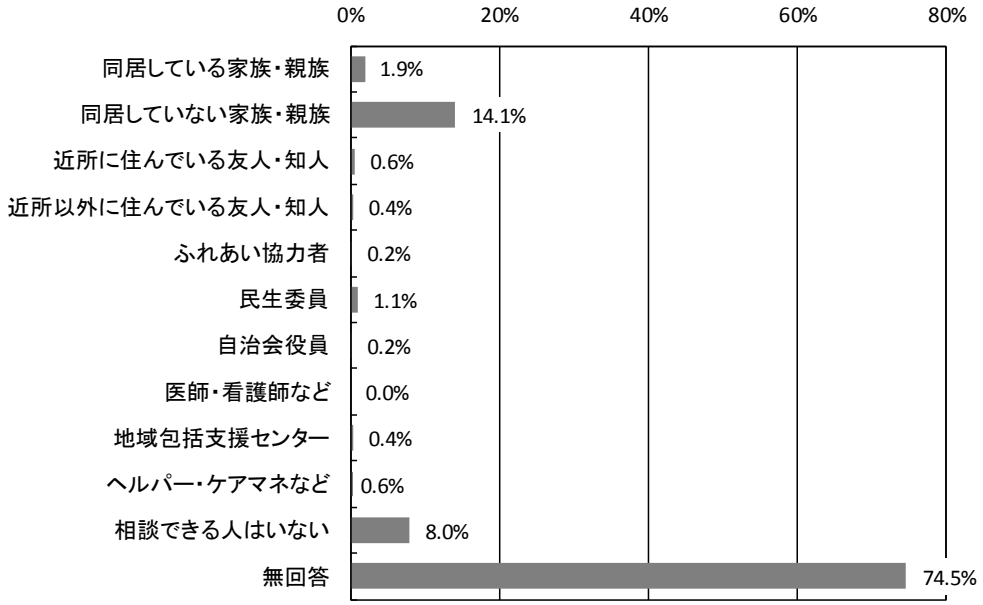
	回答数	割合
同居している家族・親族	16	3.4%
同居していない家族・親族	65	13.7%
近所に住んでいる友人・知人	6	1.3%
近所以外に住んでいる友人・知人	2	0.4%
ふれあい協力者	3	0.6%
民生委員	23	4.8%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	10	2.1%
地域包括支援センター	26	5.5%
ヘルパー・ケアマネなど	45	9.5%
相談できる人はいない	27	5.7%
無回答	298	62.7%



【D.生活のための収入が足りない】

（N=475）

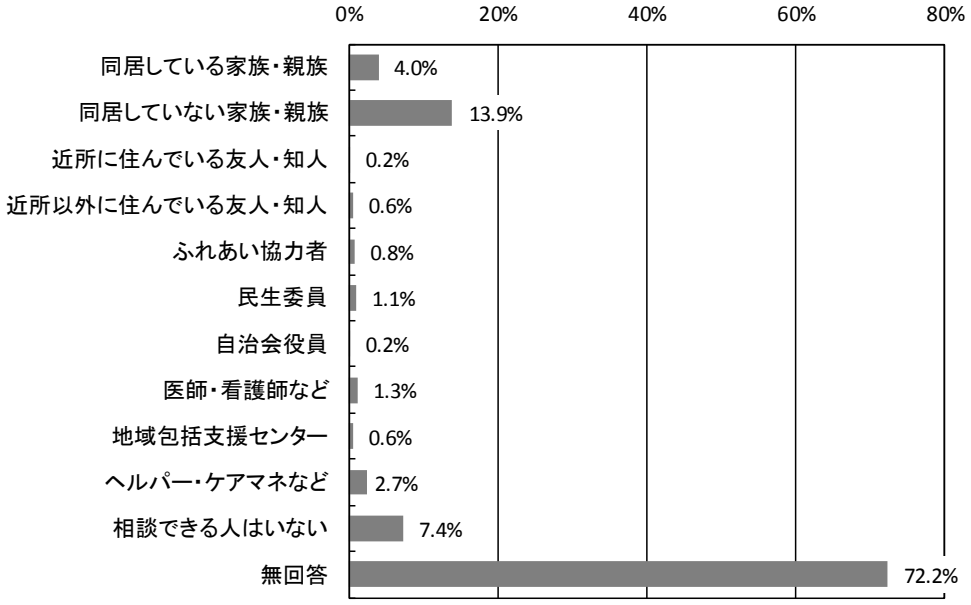
	回答数	割合
同居している家族・親族	9	1.9%
同居していない家族・親族	67	14.1%
近所に住んでいる友人・知人	3	0.6%
近所以外に住んでいる友人・知人	2	0.4%
ふれあい協力者	1	0.2%
民生委員	5	1.1%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	2	0.4%
ヘルパー・ケアマネなど	3	0.6%
相談できる人はいない	38	8.0%
無回答	354	74.5%



【E.家族の介護のこと】

（N=475）

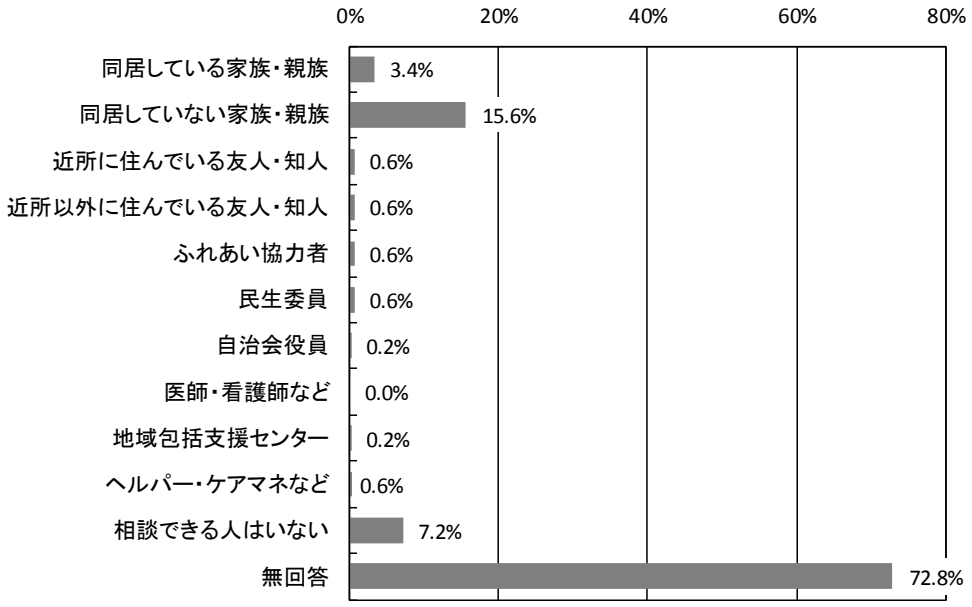
	回答数	割合
同居している家族・親族	19	4.0%
同居していない家族・親族	66	13.9%
近所に住んでいる友人・知人	1	0.2%
近所以外に住んでいる友人・知人	3	0.6%
ふれあい協力者	4	0.8%
民生委員	5	1.1%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	6	1.3%
地域包括支援センター	3	0.6%
ヘルパー・ケアマネなど	13	2.7%
相談できる人はいない	35	7.4%
無回答	343	72.2%



【F.子どもや孫など身内のこと】

（N=475）

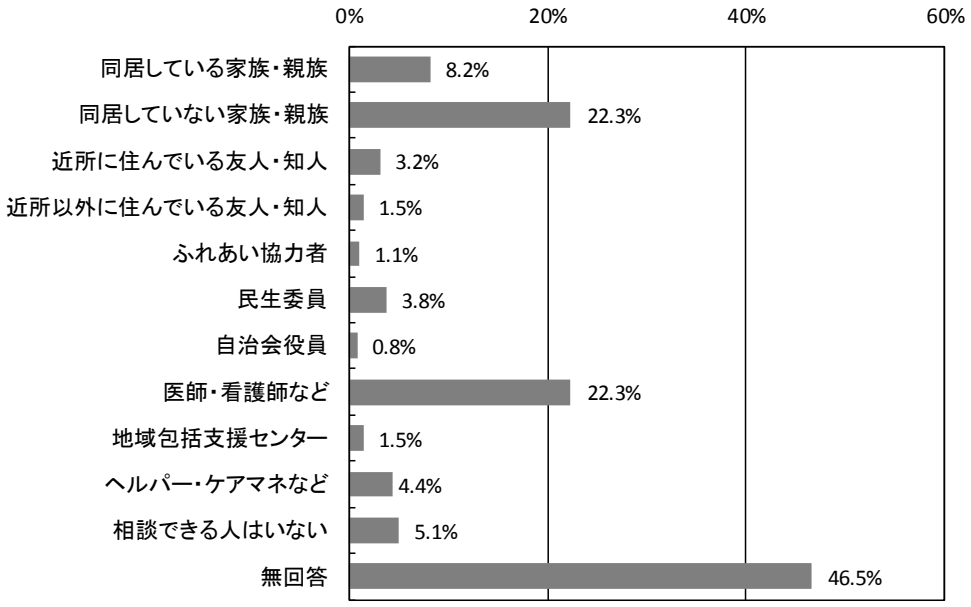
	回答数	割合
同居している家族・親族	16	3.4%
同居していない家族・親族	74	15.6%
近所に住んでいる友人・知人	3	0.6%
近所以外に住んでいる友人・知人	3	0.6%
ふれあい協力者	3	0.6%
民生委員	3	0.6%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	1	0.2%
ヘルパー・ケアマネなど	3	0.6%
相談できる人はいない	34	7.2%
無回答	346	72.8%



【G.自分自身の健康状態について】

（N=475）

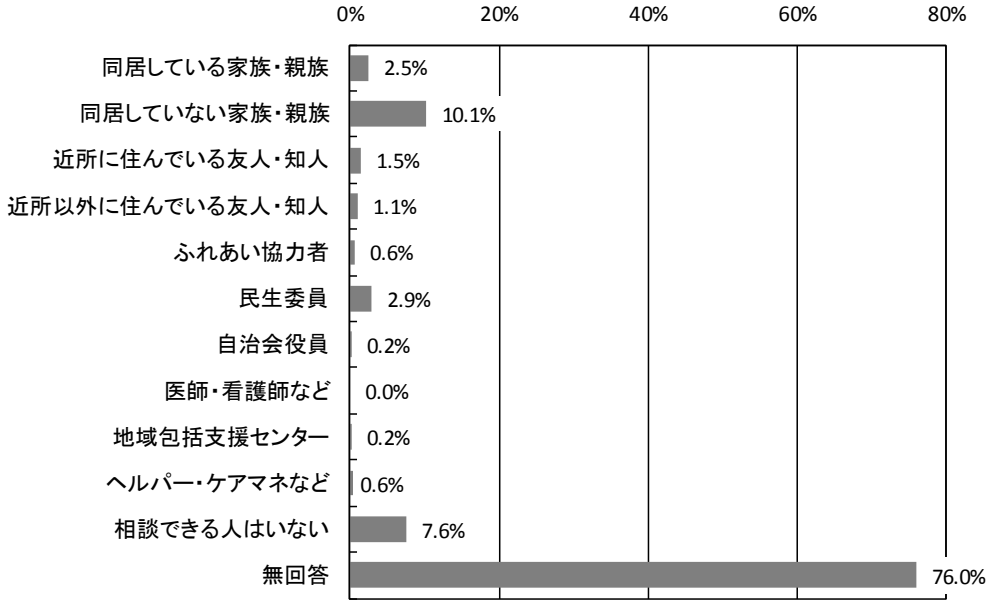
	回答数	割合
同居している家族・親族	39	8.2%
同居していない家族・親族	106	22.3%
近所に住んでいる友人・知人	15	3.2%
近所以外に住んでいる友人・知人	7	1.5%
ふれあい協力者	5	1.1%
民生委員	18	3.8%
自治会役員	4	0.8%
医師・看護師など	106	22.3%
地域包括支援センター	7	1.5%
ヘルパー・ケアマネなど	21	4.4%
相談できる人はいない	24	5.1%
無回答	221	46.5%



【H.人間関係がうまくいかない】

（N=475）

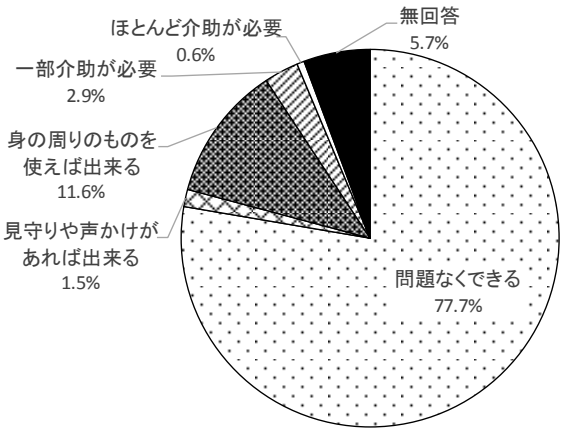
	回答数	割合
同居している家族・親族	12	2.5%
同居していない家族・親族	48	10.1%
近所に住んでいる友人・知人	7	1.5%
近所以外に住んでいる友人・知人	5	1.1%
ふれあい協力者	3	0.6%
民生委員	14	2.9%
自治会役員	1	0.2%
医師・看護師など	0	0.0%
地域包括支援センター	1	0.2%
ヘルパー・ケアマネなど	3	0.6%
相談できる人はいない	36	7.6%
無回答	361	76.0%



問 14	家の中での移動は一人でできますか。

（N=475）

	回答数	割合
問題なくできる	369	77.7%
見守りや声かけがあれば出来る	7	1.5%
身の周りのものを使えば出来る	55	11.6%
一部介助が必要	14	2.9%
ほとんど介助が必要	3	0.6%
無回答	27	5.7%



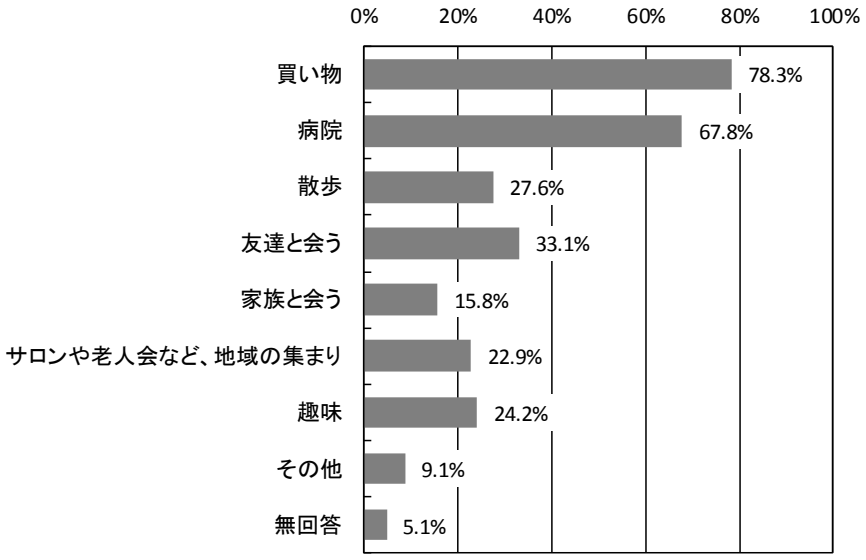
（%）

		サンプル数	問題なくできる	見守りや声かけがあれば出来る	身の周りのものを使えば出来る	一部介助が必要	ほとんど介助が必要	無回答
全　体		475	77.7	1.5	11.6	2.9	0.6	5.7
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	60.0	20.0	20.0	－	－	－
	70～74歳	56	92.9	1.8	3.6	－	1.8	－
	75～79歳	102	85.3	－	9.8	－	－	4.9
	80～84歳	146	76.0	0.7	11.6	4.1	0.7	6.8
	85歳以上	158	70.3	2.5	15.2	3.8	0.6	7.6

問 15	どのような理由で外にお出かけになることが多いですか。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
買い物	372	78.3%
病院	322	67.8%
散歩	131	27.6%
友達と会う	157	33.1%
家族と会う	75	15.8%
サロンや老人会など、地域の集まり	109	22.9%
趣味	115	24.2%
その他	43	9.1%
無回答	24	5.1%



※複数回答

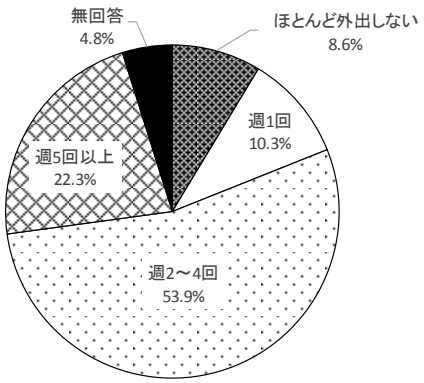
（%）

		サンプル数	買い物	病院	散歩	友達と会う	家族と会う	サロンや老人会など、地域の集まり	趣味	その他	無回答
全　体		475	78.3	67.8	27.6	33.1	15.8	22.9	24.2	9.1	5.1
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	60.0	40.0	－	－	20.0	－	20.0	20.0	20.0
	70～74歳	56	91.1	64.3	37.5	37.5	21.4	14.3	30.4	21.4	3.6
	75～79歳	102	84.3	69.6	35.3	38.2	17.6	27.5	29.4	7.8	2.0
	80～84歳	146	76.7	65.1	27.4	38.4	17.1	29.5	25.3	8.2	5.5
	85歳以上	158	72.8	73.4	20.9	25.3	12.0	19.0	19.0	4.4	5.7

問 16	お出かけの頻度はどの位ですか。

（N=475）

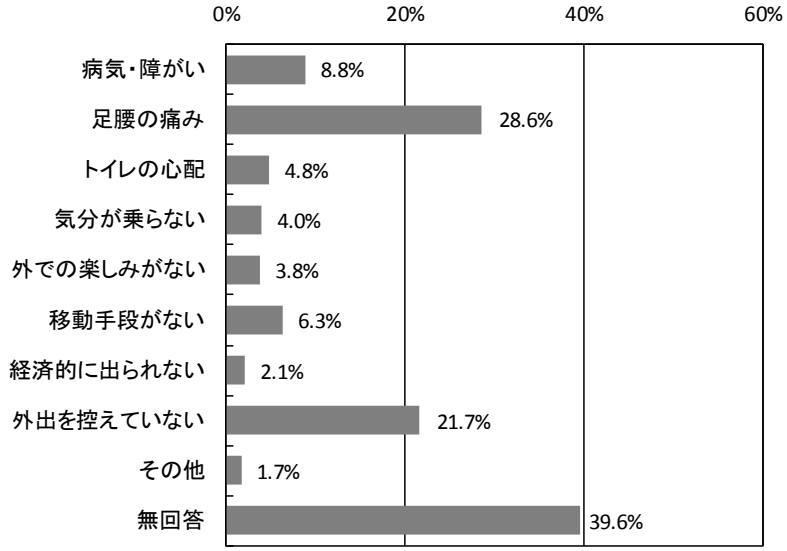
	回答数	割合
ほとんど外出しない	41	8.6%
週1回	49	10.3%
週2～4回	256	53.9%
週5回以上	106	22.3%
無回答	23	4.8%



問 17	外出を控える理由があれば教えてください。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
病気・障がい	42	8.8%
足腰の痛み	136	28.6%
トイレの心配	23	4.8%
気分が乗らない	19	4.0%
外での楽しみがない	18	3.8%
移動手段がない	30	6.3%
経済的に出られない	10	2.1%
外出を控えていない	103	21.7%
その他	8	1.7%
無回答	188	39.6%



※複数回答

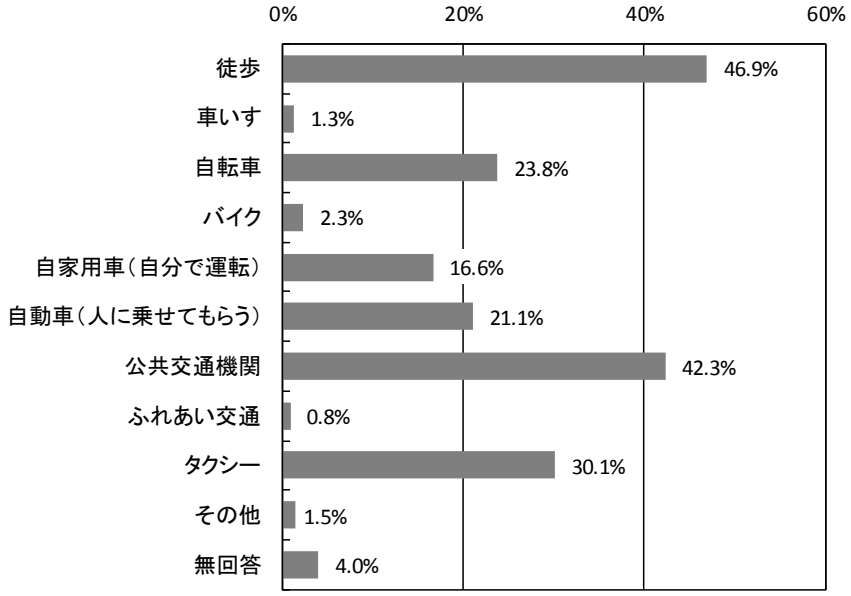
（%）

		サンプル数	病気・障がい	足腰の痛み	トイレの心配	気分が乗らない	外での楽しみがない	移動手段がない	経済的に出られない	外出を控えていない	その他	無回答
全　体		475	8.8	28.6	4.8	4.0	3.8	6.3	2.1	21.7	1.7	39.6
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	40.0	20.0	20.0	－	－	40.0	－	20.0	－	20.0
	70～74歳	56	3.6	5.4	3.6	－	－	1.8	1.8	26.8	1.8	58.9
	75～79歳	102	9.8	18.6	4.9	2.9	5.9	5.9	3.9	18.6	1.0	52.0
	80～84歳	146	10.3	30.8	4.8	5.5	3.4	6.8	1.4	21.9	2.1	34.9
	85歳以上	158	7.6	41.8	5.1	5.1	4.4	7.0	1.9	21.5	1.9	29.1

問 18	外出する際の主な移動手段は何ですか。（○はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
徒歩	223	46.9%
車いす	6	1.3%
自転車	113	23.8%
バイク	11	2.3%
自家用車（自分で運転）	79	16.6%
自動車（人に乗せてもらう）	100	21.1%
公共交通機関	201	42.3%
ふれあい交通	4	0.8%
タクシー	143	30.1%
その他	7	1.5%
無回答	19	4.0%



※複数回答

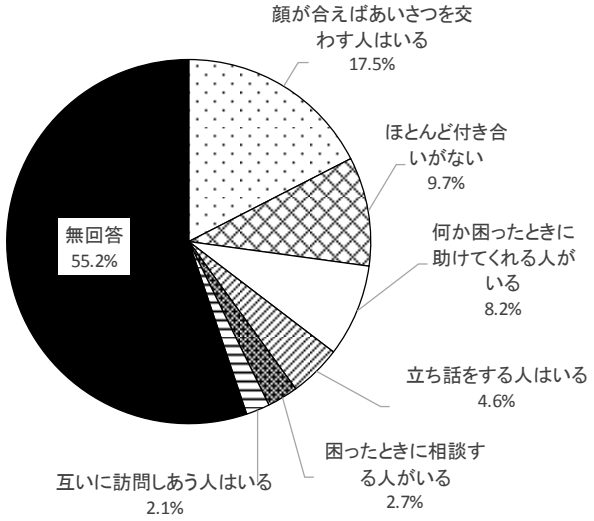
（%）

		サンプル数	徒歩	車いす	自転車	バイク	自家用車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	公共交通機関	ふれあい交通	タクシー	その他	無回答
全体		475	46.9	1.3	23.8	2.3	16.6	21.1	42.3	0.8	30.1	1.5	4.0
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	80.0	－	－	－	20.0	20.0	40.0	－	40.0	－	－
	70～74歳	56	30.4	－	46.4	5.4	28.6	19.6	39.3	－	8.9	－	1.8
	75～79歳	102	48.0	1.0	35.3	4.9	21.6	9.8	45.1	1.0	22.5	2.0	2.0
	80～84歳	146	55.5	2.1	18.5	1.4	13.7	18.5	50.0	1.4	36.3	0.7	4.8
	85歳以上	158	44.9	1.3	13.9	0.6	12.7	31.0	36.1	0.6	36.7	2.5	5.1

問 19	あなたは、日頃、ご近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。

（N=475）

	回答数	割合
顔が合えばあいさつを交わす人はいる	83	17.5%
ほとんど付き合いがない	46	9.7%
何か困ったときに助けてくれる人がいる	39	8.2%
立ち話をする人はいる	22	4.6%
困ったときに相談する人がいる	13	2.7%
互いに訪問しあう人はいる	10	2.1%
無回答	262	55.2%



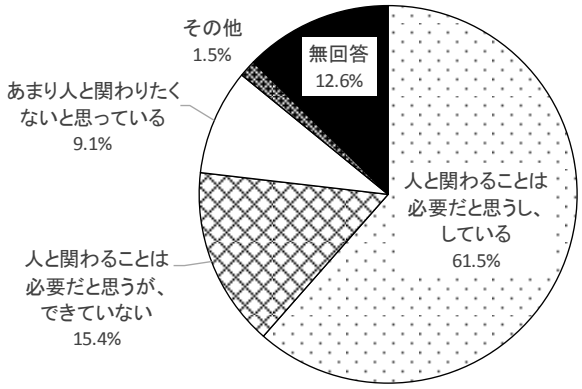
（%）

		サンプル数	何か困ったときに助けてくれる人がいる	困ったときに相談する人がいる	互いに訪問しあう人はいる	立ち話をする人はいる	顔が合えばあいさつを交わす人はいる	ほとんど付き合いがない	無回答
全　体		475	8.2	2.7	2.1	4.6	17.5	9.7	55.2
性別	男性	132	9.8	2.3	—	4.5	21.2	20.5	41.7
	女性	322	7.5	2.5	3.1	5.0	15.8	4.3	61.8

問 20	日常でのご近所付き合いについて、どのようにお考えですか。

（N=475）

	回答数	割合
人と関わることは必要だと思うし、している	292	61.5%
人と関わることは必要だと思うが、できていない	73	15.4%
あまり人と関わりたくないと思っている	43	9.1%
その他	7	1.5%
無回答	60	12.6%



（%）

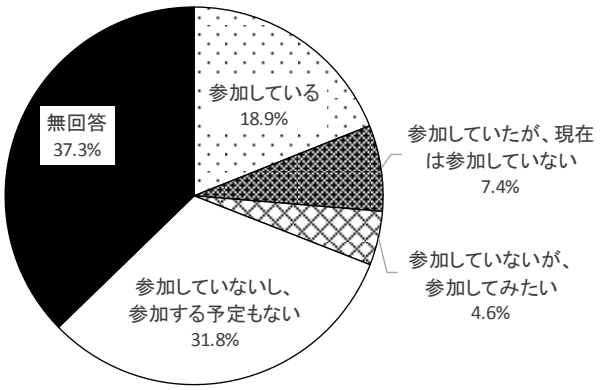
		サンプル数	人と関わることは必要だと思うし、している	人と関わることは必要だと思うが、できていない	あまり人と関わりたくないと思っている	その他	無回答
全　体		475	61.5	15.4	9.1	1.5	12.6
性別	男性	132	53.0	18.9	12.1	2.3	13.6
	女性	322	66.1	14.3	7.1	1.2	11.2

問 21①	A～I のそれぞれの活動でお住まいの地域でのあなたの参加状況について、あてはまるものにそれぞれ 1 つ○をしてください。

【A.老人会活動】

（N=475）

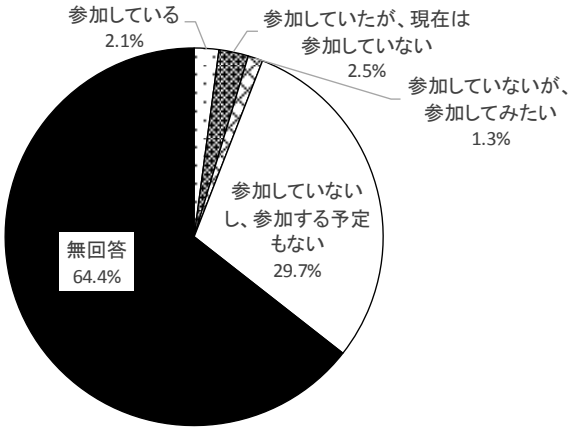
	回答数	割合
参加している	90	18.9%
参加していたが、現在は参加していない	35	7.4%
参加していないが、参加してみたい	22	4.6%
参加していないし、参加する予定もない	151	31.8%
無回答	177	37.3%



【B.婦人会活動】

（N=475）

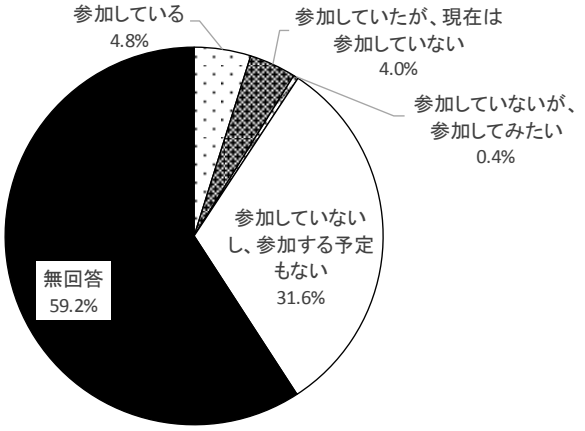
	回答数	割合
参加している	10	2.1%
参加していたが、現在は参加していない	12	2.5%
参加していないが、参加してみたい	6	1.3%
参加していないし、参加する予定もない	141	29.7%
無回答	306	64.4%



【C.地域の役員・世話人活動】

（N=475）

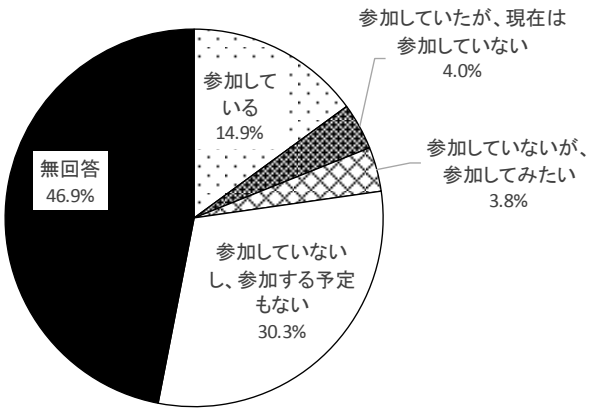
	回答数	割合
参加している	23	4.8%
参加していたが、現在は参加していない	19	4.0%
参加していないが、参加してみたい	2	0.4%
参加していないし、参加する予定もない	150	31.6%
無回答	281	59.2%



【D.公民館講座】

（N=475）

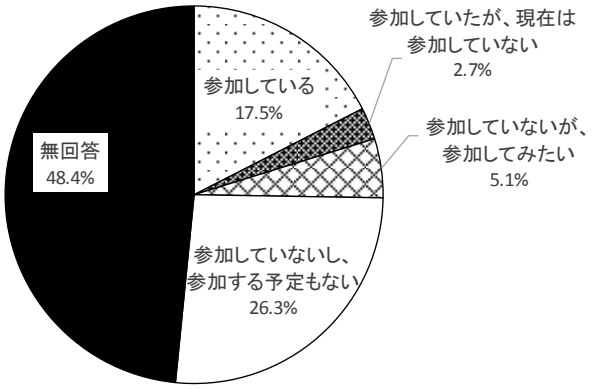
	回答数	割合
参加している	71	14.9%
参加していたが、現在は参加していない	19	4.0%
参加していないが、参加してみたい	18	3.8%
参加していないし、参加する予定もない	144	30.3%
無回答	223	46.9%



【E.趣味の活動】

（N=475）

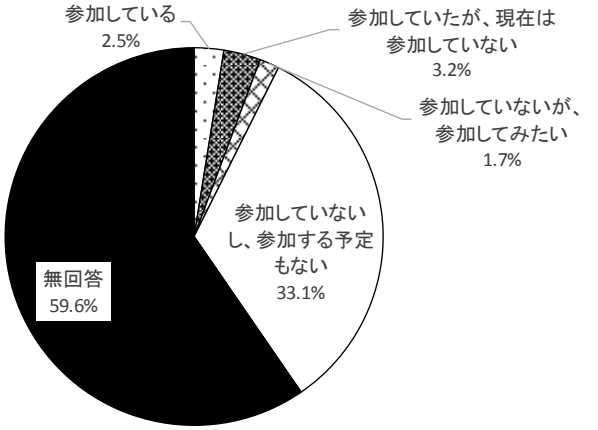
	回答数	割合
参加している	83	17.5%
参加していたが、現在は参加していない	13	2.7%
参加していないが、参加してみたい	24	5.1%
参加していないし、参加する予定もない	125	26.3%
無回答	230	48.4%



【F.ボランティア活動】

（N=475）

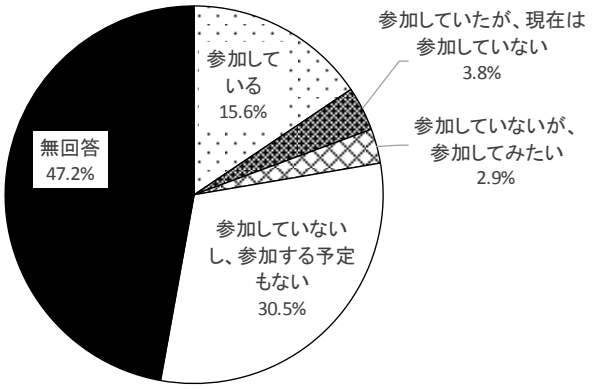
	回答数	割合
参加している	12	2.5%
参加していたが、現在は参加していない	15	3.2%
参加していないが、参加してみたい	8	1.7%
参加していないし、参加する予定もない	157	33.1%
無回答	283	59.6%



【G.高齢者サロン活動】

（N=475）

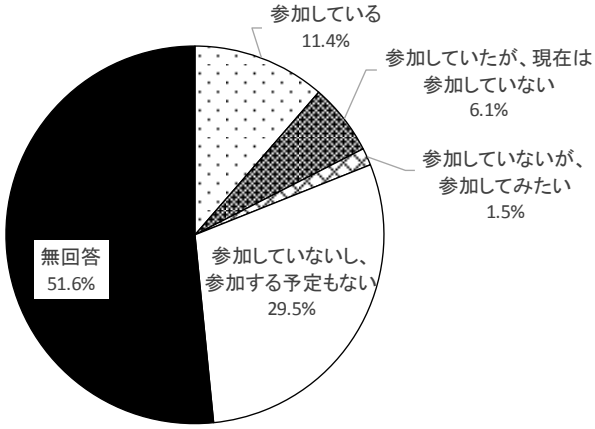
	回答数	割合
参加している	74	15.6%
参加していたが、現在は参加していない	18	3.8%
参加していないが、参加してみたい	14	2.9%
参加していないし、参加する予定もない	145	30.5%
無回答	224	47.2%



【H.地域のお祭り・行事】

（N=475）

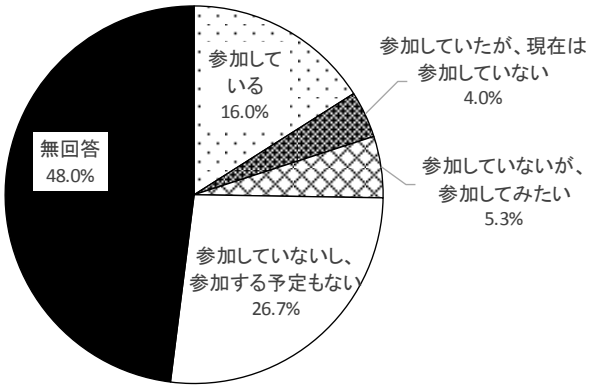
	回答数	割合
参加している	54	11.4%
参加していたが、現在は参加していない	29	6.1%
参加していないが、参加してみたい	7	1.5%
参加していないし、参加する予定もない	140	29.5%
無回答	245	51.6%



【I.運動や体操などの健康づくり活動】

（N=475）

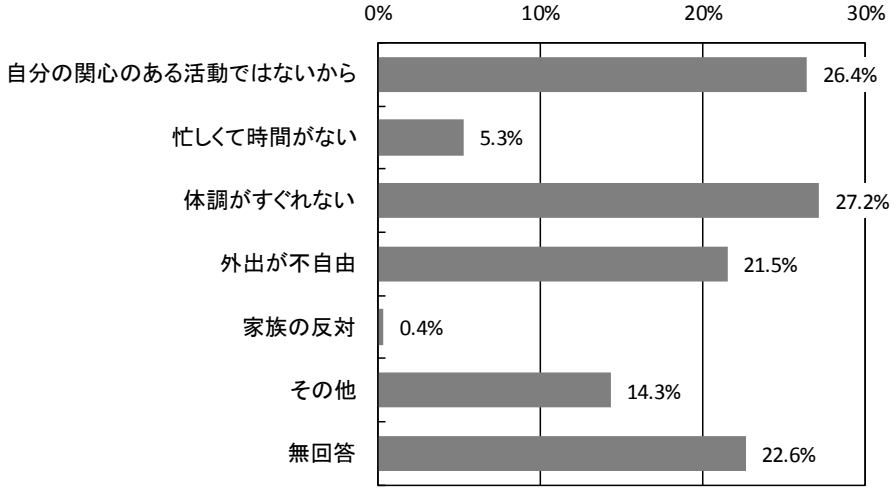
	回答数	割合
参加している	76	16.0%
参加していたが、現在は参加していない	19	4.0%
参加していないが、参加してみたい	25	5.3%
参加していないし、参加する予定もない	127	26.7%
無回答	228	48.0%



問 21②	問 21①で、「参加していない（2～4）と答えた方は、理由をお聞かせください。（○はいくつでも）

（N=265）

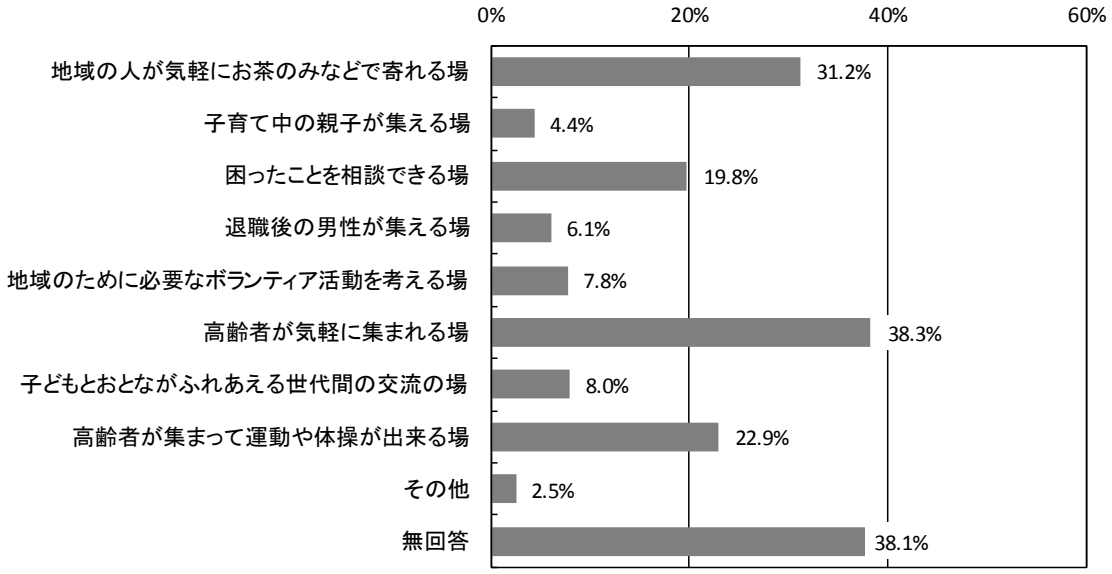
	回答数	割合
自分の関心のある活動ではないから	70	26.4%
忙しくて時間がない	14	5.3%
体調がすぐれない	72	27.2%
外出が不自由	57	21.5%
家族の反対	1	0.4%
その他	38	14.3%
無回答	60	22.6%



問 22	あなたの住んでいる地域にこれから必要だと思われる「住民同士がつながる場」とはどんな場だと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=475）

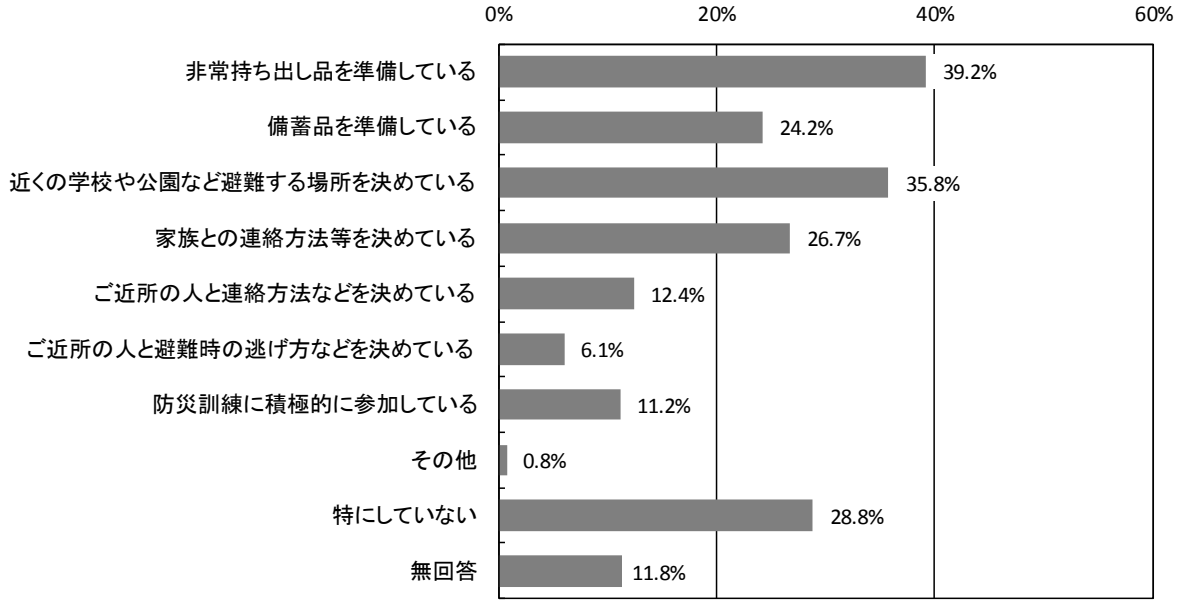
	回答数	割合
地域の人が気軽にお茶のみなどで寄れる場	148	31.2%
子育て中の親子が集える場	21	4.4%
困ったことを相談できる場	94	19.8%
退職後の男性が集える場	29	6.1%
地域のために必要なボランティア活動を考える場	37	7.8%
高齢者が気軽に集まれる場	182	38.3%
子どもとおとながふれあえる世代間の交流の場	38	8.0%
高齢者が集まって運動や体操が出来る場	109	22.9%
その他	12	2.5%
無回答	181	38.1%



問 23	災害に対してあなたはどんな備えをしていますか。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
非常持ち出し品を準備している	186	39.2%
備蓄品を準備している	115	24.2%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	170	35.8%
家族との連絡方法等を決めている	127	26.7%
ご近所の人と連絡方法などを決めている	59	12.4%
ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている	29	6.1%
防災訓練に積極的に参加している	53	11.2%
その他	4	0.8%
特にしていない	137	28.8%
無回答	56	11.8%



※複数回答

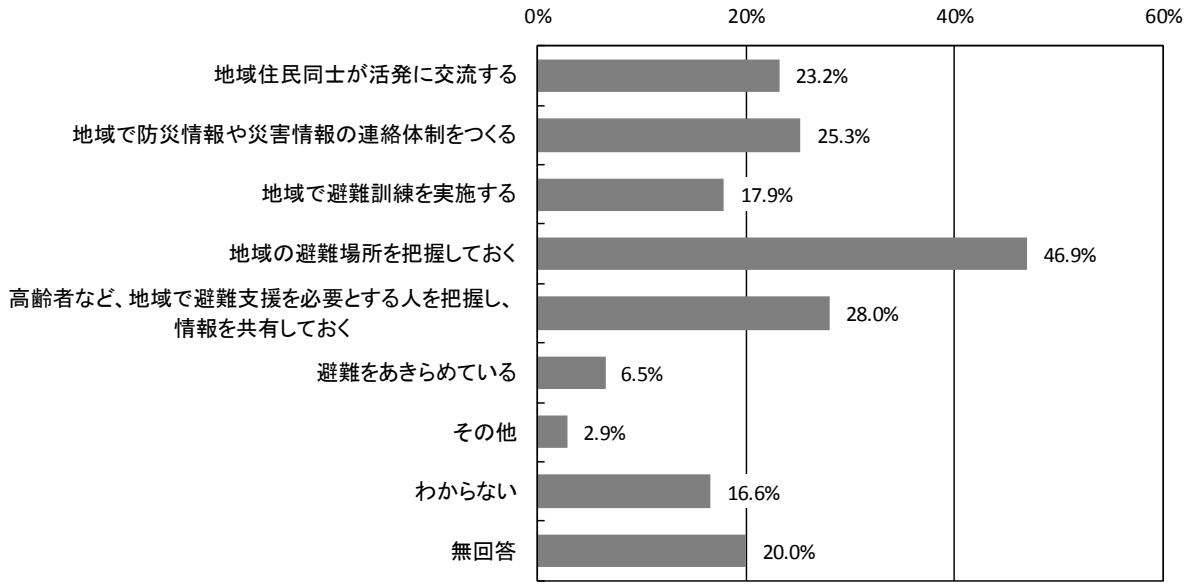
（%）

		サンプル数	非常持ち出し品を準備している	備蓄品を準備している	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	家族との連絡方法等を決めている	ご近所の人と連絡方法などを決めている	ご近所の人と避難時の逃げ方などを決めている	防災訓練に積極的に参加している	その他	特にしていない	無回答
全　体		475	39.2	24.2	35.8	26.7	12.4	6.1	11.2	0.8	28.8	11.8
性別	男性	132	35.6	18.2	36.4	22.0	9.8	3.8	12.1	1.5	37.1	9.1
	女性	322	40.7	26.7	37.6	29.2	14.3	7.5	11.5	0.6	25.5	12.1

問 24	災害時に地域住民が助け合って避難するためには、日頃から地域ぐるみでどのような準備をすればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

（N=475）

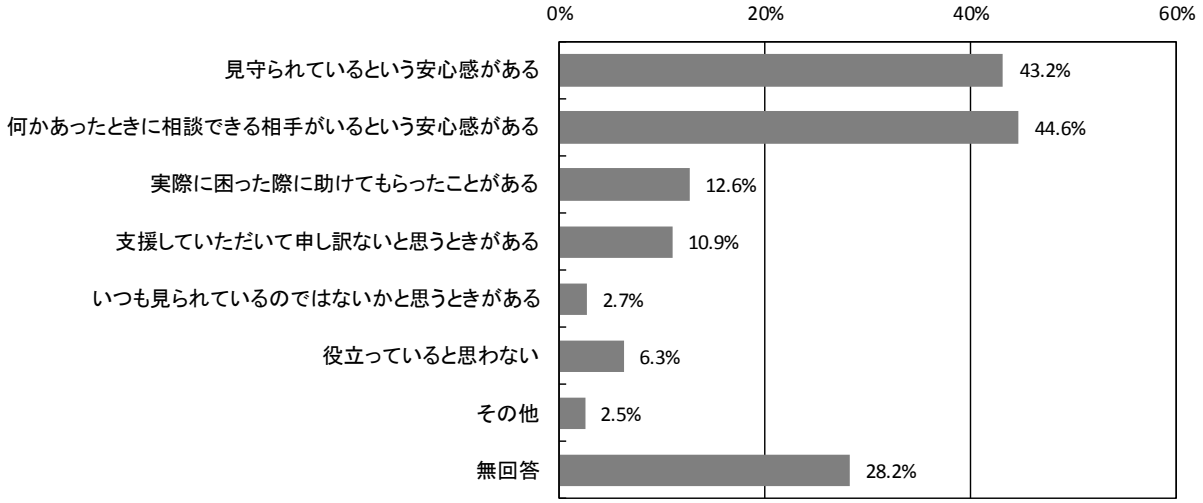
	回答数	割合
地域住民同士が活発に交流する	110	23.2%
地域で防災情報や災害情報の連絡体制をつくる	120	25.3%
地域で避難訓練を実施する	85	17.9%
地域の避難場所を把握しておく	223	46.9%
高齢者など、地域で避難支援を必要とする人を把握し、情報を共有しておく	133	28.0%
避難をあきらめている	31	6.5%
その他	14	2.9%
わからない	79	16.6%
無回答	95	20.0%



問 25	住民活動の「ふれあい活動（見守り、声かけ活動）」で、感じることを教えてください。（○はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
見守られているという安心感がある	205	43.2%
何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	212	44.6%
実際に困った際に助けてもらったことがある	60	12.6%
支援していただいて申し訳ないと思うときがある	52	10.9%
いつも見られているのではないかと思うときがある	13	2.7%
役立っていると思わない	30	6.3%
その他	12	2.5%
無回答	134	28.2%



※複数回答

（%）

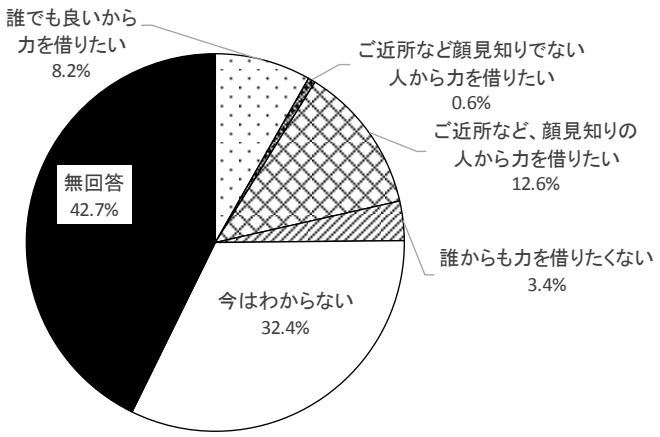
		サンプル数	見守られているという安心感がある	何かあったときに相談できる相手がいるという安心感がある	実際に困った際に助けてもらったことがある	支援していただいて申し訳ないと思うときがある	いつも見られているのではないかと思うときがある	役立っていると思わない	その他	無回答
全　体		475	43.2	44.6	12.6	10.9	2.7	6.3	2.5	28.2
年齢別	50歳未満	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	50～59歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	60～64歳	0	－	－	－	－	－	－	－	－
	65～69歳	5	40.0	60.0	20.0	20.0	－	－	－	20.0
	70～74歳	56	55.4	37.5	7.1	7.1	－	5.4	3.6	25.0
	75～79歳	102	35.3	41.2	14.7	11.8	2.0	3.9	2.0	30.4
	80～84歳	146	40.4	50.0	13.7	13.7	4.8	6.2	0.7	28.8
	85歳以上	158	48.1	45.6	12.0	9.5	2.5	8.9	4.4	25.3

問 26	A～I のそれぞれの困りごとについて、自分や同居の家族が、自分で出来なくなったときに、ご近所の人などからお手伝いに力を借りたいと思いますか。あてはまるものにそれぞれ 1 つ○をしてください。

【A.買い物】

（N=475）

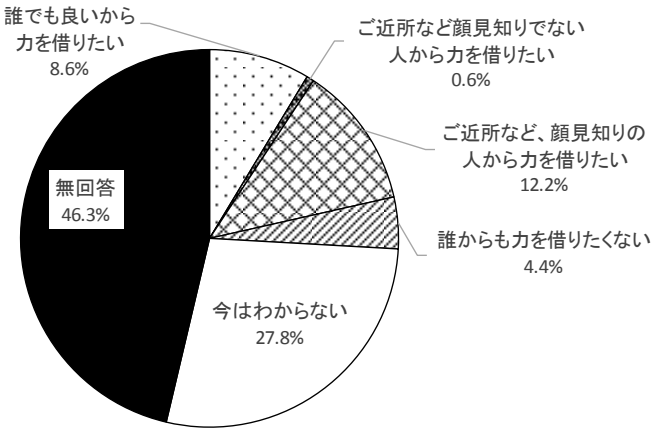
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	39	8.2%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	3	0.6%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	60	12.6%
誰からも力を借りたくない	16	3.4%
今はわからない	154	32.4%
無回答	203	42.7%



【B.ゴミ出し】

（N=475）

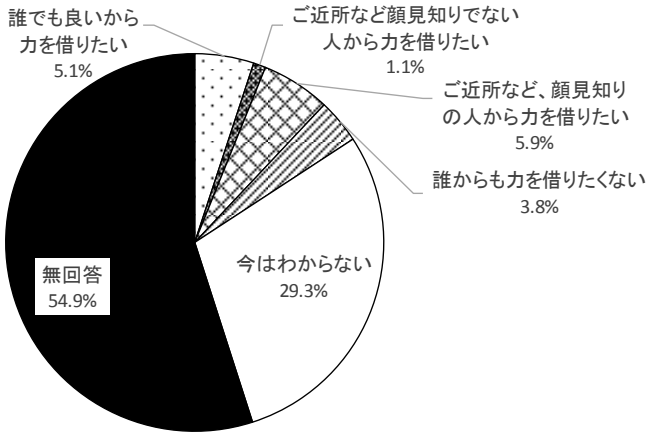
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	41	8.6%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	3	0.6%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	58	12.2%
誰からも力を借りたくない	21	4.4%
今はわからない	132	27.8%
無回答	220	46.3%



【C.布団干し】

（N=475）

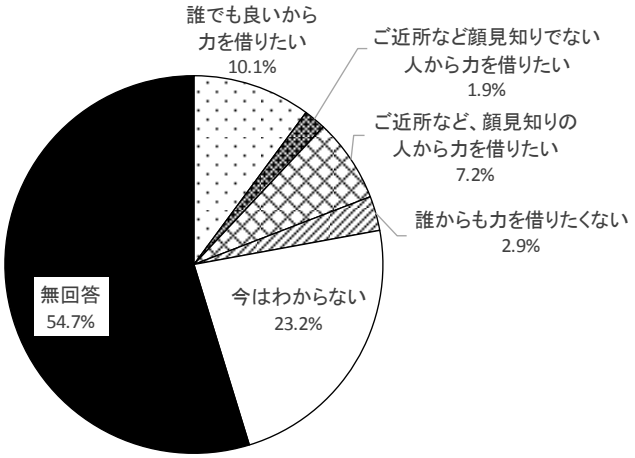
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	24	5.1%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	5	1.1%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	28	5.9%
誰からも力を借りたくない	18	3.8%
今はわからない	139	29.3%
無回答	261	54.9%



【D.草刈り】

（N=475）

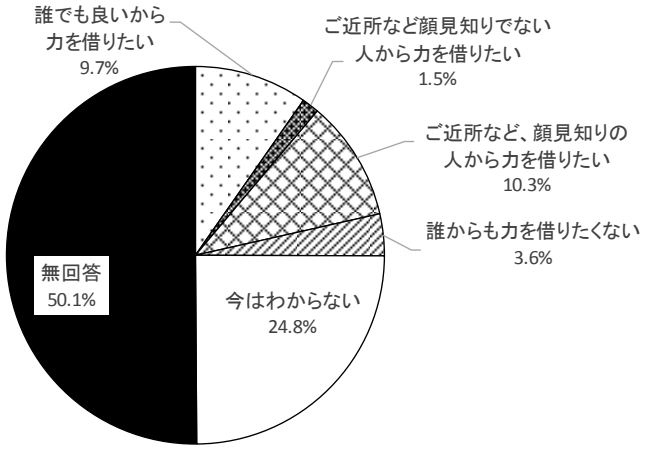
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	48	10.1%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	9	1.9%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	34	7.2%
誰からも力を借りたくない	14	2.9%
今はわからない	110	23.2%
無回答	260	54.7%



【E.電球の交換】

（N=475）

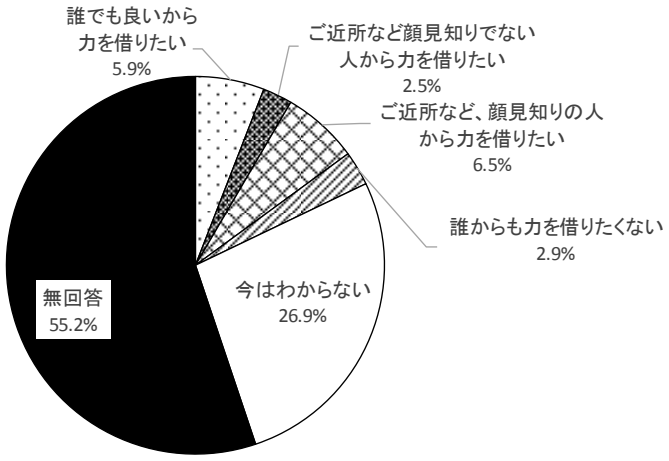
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	46	9.7%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	7	1.5%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	49	10.3%
誰からも力を借りたくない	17	3.6%
今はわからない	118	24.8%
無回答	238	50.1%



【F.家の中の修繕】

（N=475）

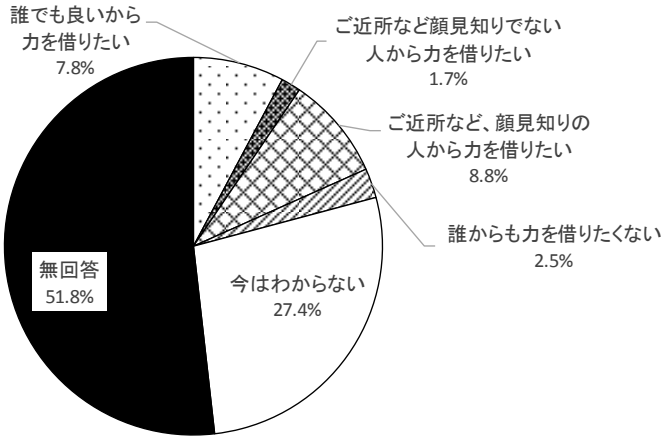
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	28	5.9%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	12	2.5%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	31	6.5%
誰からも力を借りたくない	14	2.9%
今はわからない	128	26.9%
無回答	262	55.2%



【G.重たい家具の移動】

（N=475）

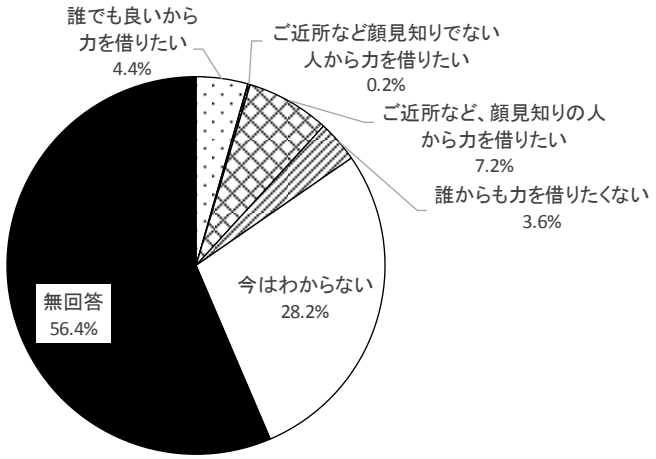
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	37	7.8%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	8	1.7%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	42	8.8%
誰からも力を借りたくない	12	2.5%
今はわからない	130	27.4%
無回答	246	51.8%



【H.外出】

（N=475）

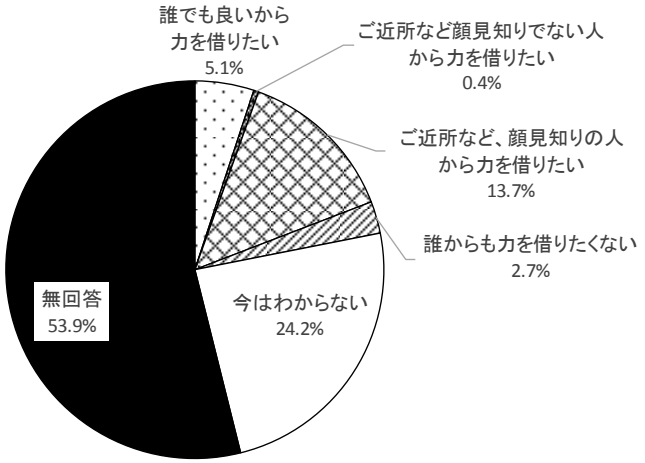
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	21	4.4%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	1	0.2%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	34	7.2%
誰からも力を借りたくない	17	3.6%
今はわからない	134	28.2%
無回答	268	56.4%



【I.話し相手】

（N=475）

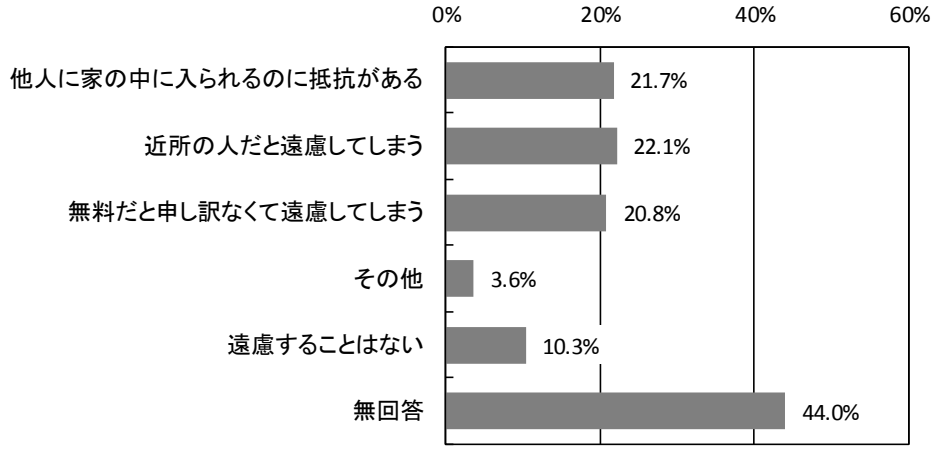
	回答数	割合
誰でも良いから力を借りたい	24	5.1%
ご近所など顔見知りでない人から力を借りたい	2	0.4%
ご近所など、顔見知りの人から力を借りたい	65	13.7%
誰からも力を借りたくない	13	2.7%
今はわからない	115	24.2%
無回答	256	53.9%



問 27	問 26 のような、力を借りることについて、以下の理由で遠慮してしまうことはあると思いますか。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
他人に家の中に入られるのに抵抗がある	103	21.7%
近所の人だと遠慮してしまう	105	22.1%
無料だと申し訳なくて遠慮してしまう	99	20.8%
その他	17	3.6%
遠慮することはない	49	10.3%
無回答	209	44.0%



※複数回答

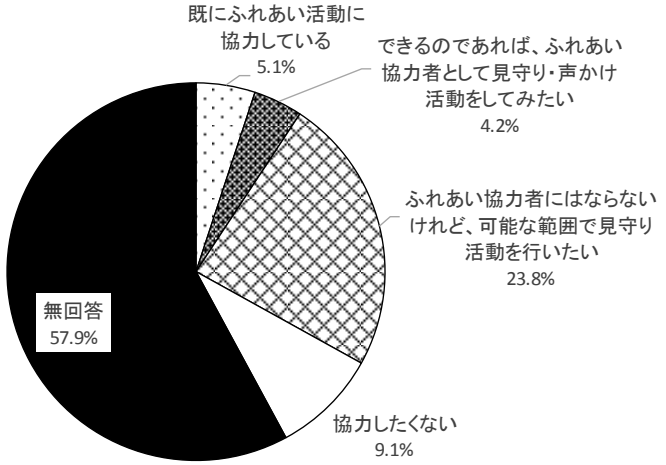
（%）

		サンプル数	他人に家の中に入られるのに抵抗がある	近所の人だと遠慮してしまう	無料だと申し訳なくて遠慮してしまう	その他	遠慮することはない	無回答
全　体		475	21.7	22.1	20.8	3.6	10.3	44.0
性別	男性	132	24.2	22.7	23.5	3.0	11.4	43.2
	女性	322	21.1	22.4	20.5	3.7	10.6	42.2

問 28	あなたは「ふれあい活動（見守り・声かけ活動）」に協力してみたいと思いますか。

（N=475）

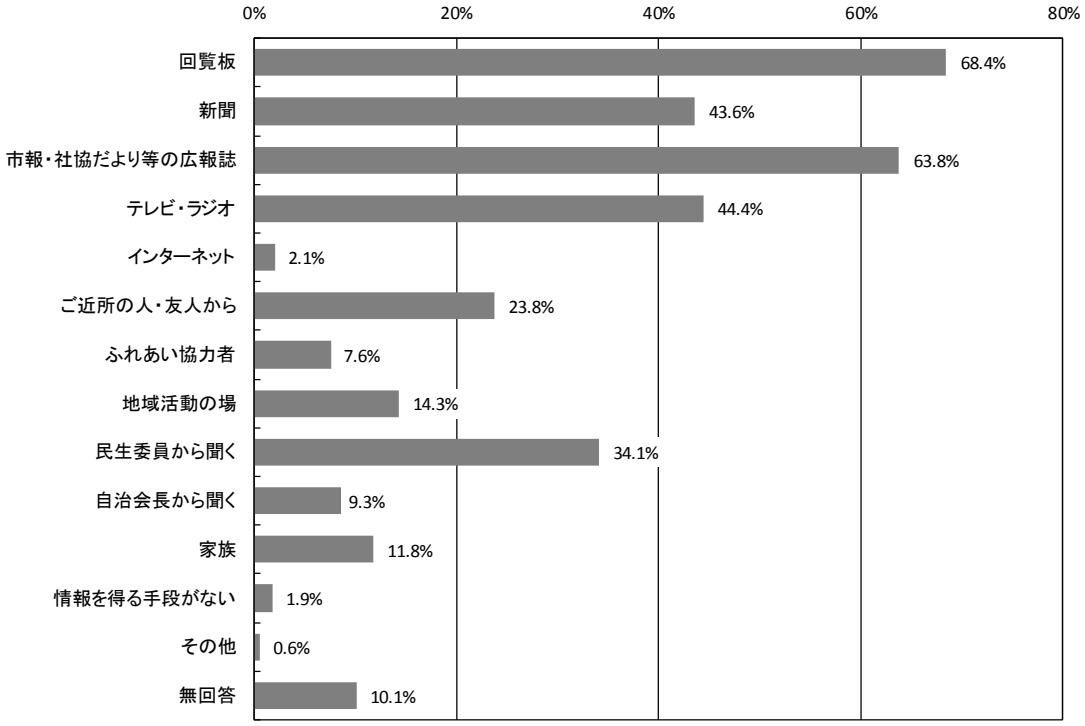
	回答数	割合
既にふれあい活動に協力している	24	5.1%
できるのであれば、ふれあい協力者として見守り・声かけ活動をしてみたい	20	4.2%
ふれあい協力者にはならないけれど、可能な範囲で見守り活動を行いたい	113	23.8%
協力したくない	43	9.1%
無回答	275	57.9%



問 29	地域の各団体の活動については、どのように情報を得ていますか。（〇はいくつでも）

（N=475）

	回答数	割合
回覧板	325	68.4%
新聞	207	43.6%
市報・社協だより等の広報誌	303	63.8%
テレビ・ラジオ	211	44.4%
インターネット	10	2.1%
ご近所の人・友人から	113	23.8%
ふれあい協力者	36	7.6%
地域活動の場	68	14.3%
民生委員から聞く	162	34.1%
自治会長から聞く	44	9.3%
家族	56	11.8%
情報を得る手段がない	9	1.9%
その他	3	0.6%
無回答	48	10.1%



※複数回答

（%）

		サンプル数	回覧板	新聞	市報・社協だより等の広報誌	テレビ・ラジオ	インターネット	ご近所の人・友人から	ふれあい協力者	地域活動の場	民生委員から聞く	自治会長から聞く	家族	情報を得る手段がない	その他	無回答
全　体		475	68.4	43.6	63.8	44.4	2.1	23.8	7.6	14.3	34.1	9.3	11.8	1.9	0.6	10.1
年齢別	50歳未満	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50～59歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	60～64歳	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	65～69歳	5	60.0	—	40.0	40.0	—	—	—	—	40.0	20.0	—	—	—	—
	70～74歳	56	53.6	30.4	62.5	35.7	3.6	12.5	7.1	8.9	26.8	3.6	5.4	5.4	—	10.7
	75～79歳	102	68.6	32.4	60.8	37.3	3.9	20.6	4.9	12.7	35.3	9.8	6.9	1.0	1.0	6.9
	80～84歳	146	74.7	47.3	69.2	45.9	2.1	30.1	8.9	21.2	36.3	6.8	13.7	2.1	0.7	6.8
	85歳以上	158	70.3	55.1	64.6	53.2	0.6	25.9	8.9	12.0	35.4	13.3	16.5	1.3	0.6	12.0

南大分校区社会福祉協議会　地域福祉活動計画	
発　行　日	平成３０年３月
発　　行	南大分校区社会福祉協議会 大分市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係 〒８７０－０８３９ 大分市金池南１丁目５番１号　ホルトホール大分４階 ℡　０９７－５４７－７４１８